京城日報

五日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

○獨墺對伊講和提議

タイムス特派員は羅馬より報じて曰く、獨墺側より伊太利に對する講和提議は此所數日乃至數週間の內に提出さる可し(倫敦電報)

○新宰相任命魂膽

タイムスは獨逸新宰相ヘルトリング氏の任命は獨逸が羅馬法王を平和運動の道具として聯合國に對する講和の努力を增進せんとするを意味するものなりと述べたり(倫敦電報)

○米國伊太利援助

十月三十日華盛頓發米利加合衆國政府は伊太利に對し緊要なる援助を與ふべしと發表せり諸新聞紙も亦一齊に伊太利に對し同情を寄せつゝあり(紐育電報)

○墺トリエスト讓與

墺太利政府は今回獨軍が伊軍を擊破せる援助に酬ゆる爲め獨逸に對しトリエストを讓與するの獨墺條約成立せり(紐育電報)

○巴里會議の內容

巴里會議の內容は聯合國共同作戰等主として軍事に關する協議をなすものと想像さる從つて同會議參列者は各國共軍事關係者なるべしと(倫敦電報)

○西班牙內閣組織

西班牙新內閣はガルシアプリエトー氏を首相として組織されたり(倫敦電報)

○伊太利皇帝出陣

伊國皇帝は首相を隨へ軍隊の士氣を鼓舞する爲め戰線に出陣したり(羅馬電報)

○佛軍進軍と捕獲

佛軍は二日夜オアズ河とエーレッテ河間に進軍を續けエーレッテ河南岸に達せり尙十月二十三日以來佛軍は全線に亙り重砲及び野砲二百門臼砲二百二十門速射砲七十二門を獲たり(倫敦電報)

○獨軍米兵を捕虜す

獨軍は目下佛國中なるマルヌライン運河の線にて米國兵を捕虜とせり(倫敦電報)

○參議院議長運動

臨時參議院開院切迫せる爲め議長運動盛んとなり進步黨は湯化龍氏を討論會は孫潤宇氏を統一黨は王揖唐氏を擧げんと運動中なり(北京電報)

○北京政府兵器借款辯明

北京政府は日本に對する軍器借款說及び南京鑛山問題に關し辯明書を發表して曰く「近來各種の新聞は日支兩國間に軍器同盟締結せられたりと報ぜるも其は全く誤報なり政府は歐洲出兵及び其の他の目的の爲め準備を要するを以て軍隊用の武器を日本より購入せんと企てたり此の取引行爲は事全く商事に關し政治的意味を有するものに非ず南京鑛山問題に就きては袁大總統時代に日本の會社華寧公司と大倉組に對し百萬圓の貸付を爲したるが其の目的は鳳凰山を買收するにありたるなる可しされど政府は之に對し何等關係せる處なく公式に承認せる事無し袁世凱氏の死後同問題は中絕せしが政府は之が圓滿なる解決を期す可し(北京特電)

○飛機製造場設置

陸軍省にては飛行機、自動車の製造工場を建設す可く約七百萬圓を支出するに決したる[illegible]設置に就[illegible](東京特電)

□兩陛下御發輦

天皇皇后兩陛下には[illegible]兩陛下には[illegible]御朝餐の後御參內中の皇太子殿下に御對面あり[illegible]午前七時五分[illegible]

○中村中佐南行

滿鐵囑託中村工兵中佐は四日午後六時半[illegible]せり(安東縣特電)

○總督下關通過

長谷川總督一行は五日午前七時三十分無事下關通過の旨神田秘書官より總督府に電報ありたり

○總督府增員

一日官制勅令を以て朝鮮總督府官制改正の件を公布即日より實施されしが其の改正點は技師三十三人を三十四人に(一人增)各判任官四百〇二人を四百〇三人に(一人增)にして又明治四十五年勅令第二十四號鑛區臨檢水產試驗及び滿洲[illegible]業調査のため總督府に臨時職員を置くの件の官制中改正され屬技手十二名を十四名に(二名增)となれり

○稅關長會議

稅關長會議は六日より十日まで總督府第二會議室に於て開催の事となれり其の日程左の如し
▲六日總督訓示、諮問事項 ▲七日諮問事項 ▲八日協議事項 ▲九日同上 ▲十日指示、打合
而して會議は每日午前九時三十分より正午までとし議場は鈴木度支部長官之を總裁の筈なり

○鮮債影響尠少

京城財政通の談に曰く今回政府の募集せる朝鮮事業國庫債券四千五百萬圓は既に一日夜東京銀行倶樂部に開催せられし金本位制實施[illegible]年記念晩餐會席上に於てなせる[illegible]藏相の演說中にも明瞭に發表せられあり前回の鮮債三千萬圓が十二月一日償還期限到來と同時に借換へらるべきは早くより全市場の豫期せる所なるを以て之に對し該計畫發表せられたればとて今更驚くべき程の耳新しき事にもあらず從つて之が財界に及ぼすべき影響も亦殆どなかるべく殊に說明に依るも本年度に於ける公債募集は之を以て一段落とされ其他は一切募債せざる由なれば府の金融政策の前途に對しても略ぼ見當を付け得らるゝに至れるもの云ふべし而して發行條件の如きは前回に比し餘りに有利なる時は其の影響大なるの恐あるが今回は其の程度に於て頗る當を得たるが如くなるを以て是亦樂觀して可なるべし加ふるに借換額三千萬圓の手許は目下各銀行團の手許に殘されつゝあるを以て是れ丈けは全部乘換らるゝ事となるべく又那に各銀行手許の潤澤を告げつゝある折柄五ヶ年短期五分利の證券は時節柄銀行にとり恰好の放資物なるを以て勿論新規の應募にも應ずべく從つて同券の大部分は全國各銀行の手許に引取らるゝ事となりて政府は非常の好成績を收め得るに至るべしと信ず(東京)

○鮮銀の取扱

朝鮮事業費證券

朝鮮事業費國庫證券四千五百萬圓は十二日より十五日迄日本銀行代理店たる朝鮮銀行にて其の公募を爲す事となりしが朝鮮銀行にては右期日前と雖も便宜其受附取扱をなすべく期日前の申込は手數料の關係より百圓に付五十錢方有利にて乃ち百圓に付九十五圓の拂込みとなり舊債乘換と同一條件にて應募し得る由

○連帶割引改正

內地朝鮮滿洲間來往の連帶に對する連絡割引取扱手續中三日より一部改正され大阪商船は從來三割引なりしも一割引となりたり

○弗貨換算率

日支小荷物連絡運送取扱ひによる弗貨立替金の弗貨換算率は三日以降當分の間百弗に付百四十七圓となりたり

○司法官異動

十一月二日附司法官異動左の如く發表さる

[illegible]

○京漢線復舊

滿洲水害のため開通を見ざりし京漢線は今回修理成り各列車共運轉を開始したる旨滿鐵京城管理局に通知ありたるが但し運轉時刻は多少の遲延を見るべく聯絡旅客は北京にて正確なる時間の聯合せを要すべしと

○古阜水利起工式

[illegible]に五十餘萬圓の起債をなし今夏より工事に着手したる全北古阜水利組合にては來る十一日古阜邑城隍山上に於て盛大なる起工式を擧行する事となり北尾組合長の名により各方面に招待狀を發したり

○醫師三部合格者

總督府醫院內に於て施行中の朝鮮醫術開業第三部試驗成績は五日午前發表されたるが合格者は左記受驗番號の六名なり
第一號、第二號、第五號、第十號、第十一號、第二十號
因みに第四部試驗日割は追て發表す可しと

○電氣代表者の訪問

來京中の朝鮮各電氣會社代表者は五日午前滿鐵京管局に安藤運輸課長を訪ひ又午後四時より久保局長を舍宅に訪問石炭運送上に關する希望を開陳したり

○電報又復遲延

大連佐世保間の海底電線又々不通となり其筋にては修理線小笠原丸を派遣し應急修理をなす事としたるも四日は風波の爲め出帆する事能はず五日漸く現場へ向ひたる次第なれば隨て復舊期も今日の處未定なり而して京城局にては右が爲め內地滿洲線の電報を取扱ふ事となりしを以て電報の取扱上より延滯し三日の調査にては(京城發著一千八百餘通、大阪發同二千六百餘通、下關發同二千八百餘通、安東發同二千三百餘通、大連發同二千九百餘通、鮮內地線同九千餘通)計二萬一千餘通を取扱ふ事とて自然發著共に延遲を來たし平生より約二三時間遲るゝ事となりしと

○支那武官一行

陸軍特別大演習觀覽のため渡日の途に就きつゝある支那將校一行武官十一名隨員七名は六日午後七時二十五分南大門驛著列車にて入京七日滯京八日午前八時四十分南大門驛發列車にて[illegible]の筈なるが滿鐵にては特に一行車輛を連結する由

○軍醫總監來鮮

陸軍省醫務局長軍醫總監鶴田禎次郎氏は來る八日朝釜山上陸し十二日新義州發滿洲を經て青島に渡り衞生狀態を視察の上歸東すと

○松川中將發期

松川軍司令官は竹內高級副官山本高級參謀を隨へ六日午前八時五十分南大門驛發列車にて大演習陪觀のため內地に向ふべし尙ほ山本中佐は釜山より歸任すべし

○大倉男來期

實業家大倉喜八郎男は本月中旬來鮮第二鴨綠江水電起工式臨席の爲め來る十日東京出發朝鮮經由本溪湖に向ふべしと(東京)

○大橋新太郎氏入京

京城電氣株式會社々長大橋新太郎氏は五日朝釜山著直ちに北行午後九時南大門著列車にて入京朝鮮ホテルに投ずべし

○宇佐川男西行

入京中の貴族院議員宇佐川一正男は五日午前九時五十分南大門驛發列車にて[illegible]安州に向ひ龜井製炭所其他を視察し歸路平壤に立寄り七日頃入京十日前後歸東の豫定なりと

○佐藤軍醫監動靜

軍司令部軍醫部長軍醫監佐藤恒丸博士は南鮮衞生事務查閱中なるが四日午後大邱を出發し金泉方面に向ふ

○高橋武官出發期

總督府武官陸軍少將高橋綏次郎氏は大演習陪觀の爲め九日朝南大門驛發汽車にて出發の事となれり

○久門所長赴任

大田建設事務所長より清津建設事務所長に轉じたる久門雄二氏は五日朝龍山[illegible]

○大田理事入京

大連駐在の滿鐵理事大田三郎氏は東上の用務を帶び五日午後七時二十五分南大門驛著列車にて入京せしが多分滯京永からずして東上すべしと

○龍居滿鐵理事

北京より東支鐵道滿洲各地旅行中なりし東京支社詰滿鐵理事龍居賴三氏は五日午後七時二十五分南大門驛著列車にて入京一泊の上東上すべしと

○齋藤代議士入京

代議士齋藤[illegible]氏は五日午前九時五十分南大門驛著列車にて安州へ向ふ

人事

[illegible]

彼れ此れ

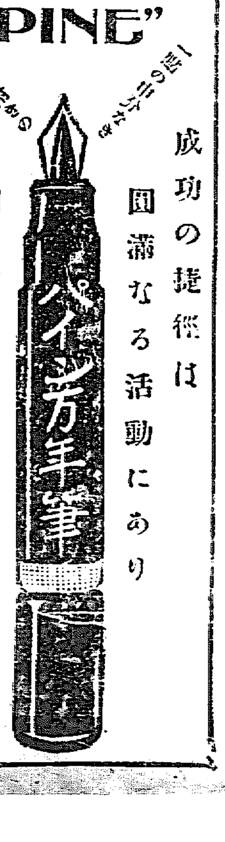
○獨墺が、伊國に單獨講和を、提議すべしとて、今更ら何人も驚かざる也。獨軍の疾風的、伊軍の[illegible]、其の之あるを、既により推人に、此の時示を、與へ居たれば也。聯合國の策應が、特に人心の頽廢を、防止せる今日、單獨講和の如きは、唯法王を勞はすに止らんのみ。殊に山地戰に於て一日の長ある羅馬鐵騎の子孫が、更に陣形を立て直したる今日に於てをや。
○英國海相ゲデス氏、敵潛艇は、[illegible]を失へりと云ふ、我潛艇の漸々たる、之れ何が[illegible]ぞ。
○朝鮮事業公債出づ、同債が特に、二十五圓を發行するは、海に其の[illegible]を得たるものと云ふべし。[illegible]圓は此の時局に際會し、一般公衆の貯蓄心を獎勵し、且つ之れを、一般的とし、下級者に迄、應募せしめんとするは、一新面目を、開きたる處に非ずや。
○漢陽秋既に老いんとし、南山、嶽を點綴する紅葉は、益々霜に誇る。而も昨年、天風初雪を吹いて、寒冷肌に迫る。本年の初雪は、京城測候所、設置以來の早降に、實に記錄破り也。冬の寒きは當然なるも、早寒には閉口せざるを得ず。兎角物は、順調が第一なり。

寄懷太華山人　今關天彭

幽石寒苔一草廬　半牀琴劍半牀書
十年占斷高寒趣　自謂前人總不如

東弟

欲報平安却愴神　少年何亦有風塵
重陽巳過菊花冷　各作秋窗聽雨人

大日本政府登錄商標
"PINE"
一品の出來榮へ世界に無比の
成功の捷徑は圓滿なる活動にあり
圓滿なる活動はパイン萬年筆の金ペンより進る


不具合及自然破損は交換快諾又は無料修繕
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

金銀賞牌二十四個
健康となる金科玉條は
美味＝滋養
蜂印香竄葡萄酒を
每食前飲用するにあり
さすれば血を增し肉を肥し
知らず識らず健康體となる

品質第一
誠實第一
實行第一
キッコーウリ
最上醬油
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

移轉御披露
大改良を加へ元千代本跡へ移轉仕候
何卒舊に倍して御贔負の程伏して奉願上候
尙宴會の御用命は御巾付迴り御豫算に超過致さゞる樣堅く取計ひ決して追加は申受間敷く候
縣人會其他の宴會は梅の家の特色に御座候
赤星きみ子 謹白
京城本町二丁目(元千代本跡)
會席御料理 梅の家
(電話)七三五番 七三四番

本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社
十一月一日

時間表
[illegible]

冬に入る

―五日鷺島にて―

底へ底へ地獄の底へ

露西亞の物資缺乏は益々甚しい

露西亞に於ける物資缺乏の程度は日を追ふて甚しく[illegible]なるが、事ここに至つては想像以上に酷を極むるものあり、今や露國の窮乏は[illegible]傳へられたる[illegible]

露國各地に於ては物資殊に食料品の缺乏其の極點に達し、殊に西北利亞クラスノヤルスク市の如きは肉類でも蔬菜でも、近在から搬んで同地方を通過する者があると

多數の市民 が馳付け次第其の荷車を掴み、殆んど奪ふが如く車に積んだ丈けの品物を買取るのが例である、恰かも其の樣は此の世作らの餓鬼道であつて、此の現象は獨り同地方のみならずイルクツク市でも其他西北利亞地方

到る處の都市 でも同樣である。夫れが爲め沿海州シユートウオ町の如きは、此の弊を除く爲め土地に食料處理委員會なるものを設けて、一切食料の投機的賣買を嚴禁する方法に出で、例令ば出來秋の食料農產物なり煙草なりを總て商人の手に購入せしめず、委員會の手に買收して之を消費組合に適當に分配し公平に食料を配給する手段を採つてゐる。而して食料中

最も缺乏してゐる のは砂糖であつて貝加爾地方及び黑龍州地方では曾て一斤の砂糖が二十哥內外であつたのが今日に於ては十層倍の二留にまで激騰したのである。而して往年暴將クラスキーが五千の支那人男女を虐殺して黑龍江の水を血に染めたる有名なブラゴエチエンスクに於ては獨り砂糖のみならず總ての物資が前記の如き

大暴騰を極 めてゐるので市民間には市當局の緩漫なる處置に憤慨し、此の機に乘じて[illegible]傍系の有力者や無賴漢が市民を煽動して市役所及び大商店を破壞しようと企つる[illegible]、而して市の人心は頗る險惡なる形勢にある、而して[illegible]の如きは一般物資の窮乏は別として

目下石油 の缺乏を來してゐる[illegible]して居る石油は何ふ[illegible]一箇月を支ふるに過ぎぬといふ狀態であつて[illegible]一箇月で浦鹽の夜は[illegible]暗黑世界と化するであらうといふ[illegible]一般の希望は此の際切めて石油丈けなりとも[illegible]して政府より此の窮狀を救濟せしめなければならぬと叫んでゐると

◎天洋丸坐洲

東京灣內にて

東洋汽船天洋丸は三日夜九時神戶出帆[illegible]東京灣第二海堡附近の淺瀨に坐洲せり、横濱東洋汽船支店より汽艇吉丸を現場に急派せるが、目下波靜かにして船體無事なれば積荷を取卸し五日午前十時迄には自力にて離洲し得る筈なり(東京電話)

△船客無事上陸

四日午後六時横濱入港の途中富津附近にて坐洲せし天洋丸は船體異狀なく船客全部六百名は五日朝無事小蒸汽船に移乘上陸せしめたり(東京電話)

◎賭博徒四十餘名の大捕物

密屋にて支那人廿四名を逮捕す

近來京城谷川町十一番地附近の密屋に毎夜多數の支那人等蝟集して大賭博をなす模樣ある由を所轄本町警察署に探知したる本町警察署にては當直山下警部指揮の下に[illegible]張りを置き戒して容易に現場を見せず[illegible]去月卅一日午後八時頃より刑事巡査も車屋となりて[illegible]帳しつゝあることを探知したる[illegible]の下に兒玉部長是枝巡査以下約二十名の警官

▲何れも變裝して午後十時頃現場に踏み込みたるに強力なる見張番は激しく抵抗して一部の警官と格鬪中他の警官等は一齊に室內に闖入したる際居合はせたる二十五名の支那人等は極力逃走を企てゝ茲に又もや格鬪を演出したるも遂に二十四名の者を逮捕し現場に在りたる二百十九圓餘の賭錢及び賭具を押收して引揚げたり而して取調べの結果長谷川町居住野袋行商周文貴(三五)外西小門町、太平通、三坂通、南大門市場、長谷川町等居住の行商及び職工等にして目下何れも留置して取調べ中なりと

◎海軍一等兵曹怒濤に攫はる

五島沖海軍演習中の出來事

二日午後四時頃五島沖にて軍艦[illegible]第十六號驅逐艦[illegible]一等兵曹[illegible]練習中怒濤に攫はれ行衛不明となれり(佐世保電話)目下[illegible]捜索中の由なるが[illegible]

◎普通學校大火事

慶南甲山郡甲山公立普通學校は四日午後八時頃發火し同校[illegible]したるのみにて翌午前一時頃鎭火せり[illegible]本は無事にて[illegible]原因取調べ中

◎雪の初雪

昨年より三十七日早し

朝鮮附近の氣壓の配置漸く冬季に近づきたる爲め陸地方の天候不良を呈し[illegible]日本海に出づるに當り一方大陸に移り行く低氣壓は朝鮮北部を通過しつゝ[illegible]と化せり[illegible]

◎黃海道の降雪 黃海道[illegible]各地方に於ても十月二十八日午後八時頃より[illegible]二十九日午前九時に[illegible]を示し[illegible]大角頭には積雪を見たり[illegible]昨年に比すれば降雪約四十日前の

◎大田の初雪 四日未明[illegible]しく寒氣加はり夜に入り[illegible]

◎日曜

北鮮零下五度

四日清津地方は降雪あり[illegible]山野白皚々たる寒氣[illegible]に加はり五日朝は零下五度を示す(清津電話)

◎最も早く 初雪を見たる[illegible]は明治四十年十一月七日にして之[illegible]見たるに比すれば三十七日早し、今迄[illegible]より[illegible]統計に徵するに僅十五[illegible]之を京城に於て觀測開始されて[illegible]之を昨年の十二月十一日に初雪を[illegible]

◎之が影響を蒙り 四日朝[illegible]東風強く亂雲低く飛び午後四時十五分より同五時九分に至る五十分間京城附近は陰鬱的降雪を見たり

大演習の前

大阪にて 青霞生

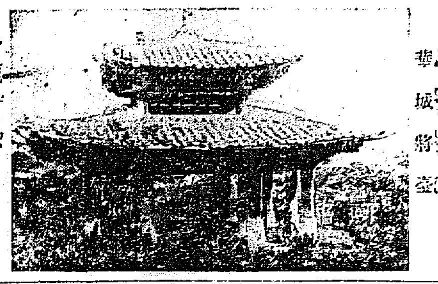
♣兩陛下行幸啓 天皇陛下には十一月五日を以て東京御發輦名古屋に御一泊六日を以て京都に行在所に入らせらる、吾等は誠恐誠惶[illegible]の秋、玉車の迎ふる[illegible]御一路が[illegible]、恭しく惟ふに今回の[illegible]行幸に京都御駐輦中[illegible]の御陵に親謁遊ばされ[illegible]陛下の御[illegible]を執り行はせらる[illegible]以て[illegible]を[illegible]の中野に練兵されたる[illegible]の如き御[illegible]を親ら御親裁遊ばされ[illegible]の天恩を奉體し國を擧げて[illegible]を拝承するに

♣兩陛下御同列 七日は御着[illegible]八日[illegible]九日は[illegible]行幸あらせらるべく[illegible]

♣陛下の御座所 陛下には三十二年六月一日當時に[illegible]東宮にお在しませし頃威仁親王殿下御同伴にて行啓遊ばされ次で四十三年十月一日並に同四十四年十一月十八日に以上三回の行啓あらせられたる校內の設備には御精通遊ばさるゝ御事なれば今回の行幸には御興いと深く拜すべく拜察せらるゝが如く六年を隔て當時の建つゝあり校內には法科研究室、文科陳列館土木教室[illegible]建て連り面目も備り叡慮に對へ奉らんとす今度

♣今回行幸の榮 聖上を得る京大は創設以來曾て斯くの如き[illegible]を忝うしたる事なく[illegible]陛下の行啓[illegible]去る明治三十六年五月皇后陛下の[illegible]

♣京都の秋酬に 京都の時雨、東嶺の紅楓彩を染め、錦を織り、鴨川の流水漸く秋天を浸し、洛の內外到る處史的名勝に富み行樂恣なる一年中の好季節なり[illegible]至尊の御旅情を慰め奉るに充分なるべきを信ぜんとす、しかして陛下の京都行幸は去る御大典後初めてなれば吾人は京都府市民と共に聖駕を奉迎し麗はしき龍顏を拜し奉るを得るは寔に無上の光榮にして欣躍措く能はざる所なり



華城將臺

[illegible]れば一帶の雜木林が紅葉し盡してゐるが夫れに續いては翠綠溢るゝばかりの老松が大深林をなしてゐる、其の山路を喘ぎながら登つて峰頭に達すれば絕頂の華城將臺に到る。

水原の秋色

結構壯麗な樓門 名物の源五郎鮒

秋闌けし十一月四日の日曜、水原の秋色を訪ねる。列車の窓から見渡せば黃金の稻禾は早や刈り盡されて畔には幾把の稻が乾されてある、水原驛から自動車を驅り八達門を潜つて城內に這入ると、偶然前日京城から地方巡閲に出張した國友警務課長の一行に邂逅した、來合はせゐた松元水原署長の厚意で

◆◆◆ 水原城內外の勝景を探ぐるべく先づ華虹門に ◆◆◆

を走せて華虹門と言ひ何所にか古典的な面影が見ゐて大きな大理石で疊み上げられた半圓形の門が七個騈んで蟠龍の如く餐ゐてゐる、見上ぐれば其の上には結構壯麗な樓閣が聳えて門下には果川の清流が湯々と迸つて下流の小溪は兩岸に立並んだ楊柳の枯れ葉を浮ばせてゐる、更に訪花隨柳亭の樓閣に登つて彼の朝鮮銀行券紙幣中に樓門を印刷してあるのは即ち此の門である

◆◆◆ 遙かに眼下を見下せば ◆◆◆

や、人煙稀疎な移民部落も夢のやうに見ゐる、樓の直下には小型な不忍の蓮池もあつて四邊の風光は庭に寫て好い趣きである、歩を轉じて名松蒼蒼と續いた八達山下の將臺殿に進くと、金丹紅の建物が須彌の補山のやうな松林の中に古色蒼然と眺められ、庭內には

◆◆◆ 正宗[illegible]五の名木 ◆◆◆

る、殿閣は緩かに[illegible]してゐるのみであるが遙かに見渡せば遠近の山河や屋並みが恰かも一幅の繪卷物を展べたやうで

◆◆◆ [illegible]に見ゐる ◆◆◆

絕勝である、だら〳〵下つて城壁の北方なる長安門を訪づれば遙かの京城街道には里餘の松並木が續で『君と分れて松原行けば』の一節に誂へ向きの場所である、其昔莊獻太子の孝子正宗大王が此の並木道を經て踊るさに振り返り〳〵父君の英靈を九拜して滂沱禁じ得なかつたとの美談に相應はしい妙趣があると思はれる

◆◆◆ 次ぎに華西門の下に立てば破瓦亂 ◆◆◆

として雜草が蓬々とし凋落の城趾に赤い落日に映れて襟を潤はすの感に迫られながら蒼龍門の方に周つて行く、此の門も同樣の面影を見せて同じやうな松林を縫ひながら下つて西湖の方に向ふ、西湖は京釜線路に沿うた勸業模範場の片端である、周圍は一里餘もあるべく濃綠滴る麗妓山を背景とし突兀とした浮石一を向ふに見て

◆◆◆ 其の湖には天然の花を浮べた ◆◆◆

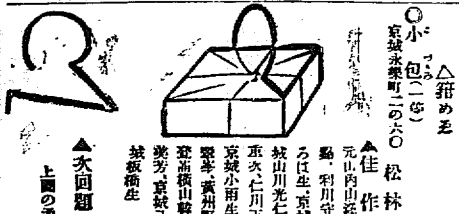
池となり名物の源五郎鮒は靑波打寄する汀にも跳ねてゐる、端には小鴨の群れを追ふ狩獵の人も見えて秋らしい氣分に包まれてゐる、此の水は懸巖から垂れて瀧となり泡沫は岩に碎けて秋は一層の凄味を添へてゐる、西湖の名稱は支那の西湖に因んで命名したものであると(一記者)

讀者文藝(一句に五十錢券を呈す)

△締め切

◎小包(一等) 京城永樂町二の六〇 松林軒內

▲佳作 元山內山淡思、仁川耶馬、利川守山、京城いろは生、京城諷庵生、京城山川光仁、木浦若木亞次、仁川下司武藏生、京城小雨生、京城片岡翠峯、黃州野底客一、永登浦横山幹一郎、龍山美芳、京城八町散人、京城板橋生



▲次回題 上圖の通り

讀者文藝 課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲賞品は一週間後 ▲種類の選る毎 [illegible]

締切 發表 四日 [illegible]

大阪期米

五日寄付 二十三圓五十錢

氣沸騰し中六十錢先限三十五錢と跳ねしも跡一旦三十錢に引緩局後場當限三節十九圓八十錢一錢三十一錢と强硬の成行きを示せり

前場	寄付 止メ 高値 安値
	十九圓十八錢 十九圓三十三錢 十九圓三十五錢 十九圓十五錢

一等二名 二等五十一名 [illegible]

四日午後十時二十五分釜山入港壹岐丸二三等客[illegible]

商況

有價證券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

下關期米特電

大阪期米特電

[illegible]

雜報

●綿布益々好調

綿布は龍レー八圓四十錢九龍八圓七十錢[illegible]三銘九圓十錢と益好調

米棉一圓高 總て六十圓臺を維持

●毛斯倫漸好調

毛斯倫救濟問題に付き既報の如く東京側は解決を告げ大阪側は目下京城側及び會社へ交渉中にて近々纏め久しく沈靜狀態にありし街況と共に最近の到着方取引の活況と共に漸次氣配を直し動もすれば五十錢をも割らず形勢にありし相場は目下六十五六錢見當(解決問題の曉)を唱へつゝあれば更に昂調を呈せんと

●綿子ル好況

綿子ル救濟問題も對產者に於ける部分的解合に[illegible]

各地商況

○木浦(三日の穀物) 正米(小安)[illegible]

○馬山(二日の穀物) 新米出廻りは依然[illegible]

市場雜觀

青物小賣値

下	[illegible]

京城正米

南大門の廻穀

釜山穀物

仁川期米

▲五日前場(保合)

仁川取引所

北濱たより

▲大株の成績

●大豆は好勢

●內地移出は値合

●餘地も再び輸出

●罐詰新甘藷薄

●東豆腐强收

●逐次減少 輸出の旺盛に滯貨

南洋及支那の前途益々强合

●下關市場

仁川米豆取引所仲買人 合 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 合 仲買店

北西の風 晴一時曇(五日午後六時より六日午後六時迄)

東北地方稲作慘害と驚くべき大阪の造船狀況

仁川穀物協會理事　大平嘉重郎氏談

仁川米穀商組合長大平嘉重郎氏は過般大阪に開催されたる米穀商同業組合聯合會に出席の爲め渡内地中なりしが、親しく東北地方の稲作狀況をも視察して歸れる同氏の談左の如し

▲淀川堤防の決潰により悲慘なる水害の厄に會へる吹田を中心とする附近一帶の地は今尚ほ濁水の復舊に會せず泥土一望、洋々として陸上舟を浮ばせる光景は轉た當時の慘狀を偲ばるゝ、勿論一草の生育を留めぬ慘濟たる被害の跡は更らに二度目の出水に遭つて一段の慘を加へ今日迄既に月餘、住むに家なき附近の住民は濁水の我が家を捨てゝ僅かに

▲河岸堤防の上にバラックを建設して之に住へるの有樣、收穫等は悉く府の救助に依りて辛じて露命を繋げる狀態、其の慘狀は實に言語に絶すべきものありと云ふべしである、然ども吾が穀物關係者の立場より之が齎らす影響如何を觀る時は慘は慘なりと雖も區域の狹小なる幸ひに廣汎ならず吹田一帶の地及び琵琶湖沿岸の地方に於ける作物の全滅は之を

▲全國の作柄 收穫より見る時は別に大なる打撃とはならず[illegible]來ない、東北に於ける[illegible]の被害は實に全國の[illegible]を來したる者の如く[illegible]減收一割は慥かに之を東北の[illegible]に甚するものと斷ずる、由來總ての作物は北地に近づく程其の結實を急ぐの傾きあるは動かすべからざる事實にして東北地方の如き之を關西方面のそれに比すれば成熟著しく早く過般暴風雨の襲來せし當時の如き奧羽地方の稲作は

▲既に結實して所謂垂穗の時期に在りしもの、此の時に當つて狂風一過せしを以て作物爲めに倒れ垂穗忽ち地上に倒るゝの有樣、加ふるに連日の豪雨に水田久しく水を湛へ倒れし稲は之に浸つて遂ひにそれに芽を吹くと云ふ慘狀、奧羽六縣に悉く此の慘害を蒙れりと、車中に此の跡を眺めて予は其の實狀を觀察すべく特に途中に下車一泊して附近の實際を調査せしに多くは其言の如く

▲寸餘の嫩芽を出だし甚だしきに至つては一頃青波[illegible]渡るの奇觀を呈せし部分へあり、之を以て如何に其の被害が甚大なるかは想像するに難からずである、[illegible]其の被害の[illegible]全國の收穫に及ぼす影響は勘少でない、即ち[illegible]地方の減收を一割乃至二割に相當すべく之を全國の收穫の上より觀る時は僅に一割減を左右したるに過ぎざるが如し

▲一驚を喫す [illegible]二十三日大阪の安治川を下つて三十間堀[illegible]富島組の案内にて小蒸汽にて[illegible]木津川等を航下し[illegible]川岸を視察せるが造船所[illegible]建造せられつゝある[illegible]數の上より[illegible]船腹の[illegible]

▲無數の船舶 の建造せられつゝある今日、此の船腹不足の狀況[illegible]果して何時迄續くかは一考を要する事である、現に此の急激なる新造船が過剰を來すの時機の到來しはせぬか、現下の狀勢に於て巨利を望んとのみ急ぐ造船の前途は寧ろ寒心すべき性質のものではあるまいか、大阪市中に於て此の造船用の器具を製作に從事せる鐵工所の如き實に八百八十六箇所と稱すると云へば其の旺盛なる現狀、想像するに難くはあるまい（仁川）

滿洲の群羊

羊毛と其改良

滿鐵試驗所研究

滿蒙に於ては滿鐵産業試驗所に於て研究中なるが近來その改良研究の効果を收めつゝあり一段落を告ぐるに至りたるを以て其の研究の結果は

▲一般に公表して 滿蒙の羊毛は下等の品種に屬し改良に着手する方針なり現今の羊毛は[illegible]の製造に適せざるに非ざれども大體に於て外商の手を經て米國に輸出せらるゝ羊毛は從來

▲資力の薄弱なる 商人[illegible]支那商人の手を經て買取り、資力大なる支那商人より買付け邦商と生産者との直接取引は殆んど皆無にして其不利益は仲介者たる支那商人をして土砂の混交

▲進んで之に投資 し取りを行ふに至れば之等の羊毛買收に對して相當の[illegible]は會社の事業として[illegible]を開始するに至るや[illegible]の事なり猶は取引に關する根本的[illegible]調査研究に付ては[illegible]鐵試驗場の試驗調査に由れば滿蒙産の羊毛は品質粗惡にして毛量は一頭[illegible]なきを缺點とし特に毛[illegible]羊の

▲其の他の不正手段 を[illegible]行ふ餘地を與へ羊毛の品質を劣惡ならしめ結局價格を不廉ならしむる事の如き不利益なる取引に甘せざるべからざるの原因は主として邦商が外國商人に比して薄資なると邦商の通弊として取引に對する急務を[illegible]ざるに由るされば此方面に對して羊毛の如き國家的に重要なる商品に對しては當業者も[illegible]に小資本のものが各個に對立して競爭するが如き事は[illegible]不利益なり今回東洋拓殖會社にては

▲漸次減少の傾向 ある[illegible]は大いに注意を要すべき點なりとすれば毛質の改良毛量の増加を計りて牧羊の増殖を急務とし滿鐵産業試驗所は毛用優良種メリノー種と蒙古羊を交配せしめたる雑種に就き研究し殆ど倍加の好成績を示し試驗的良好の結果を得たるを以て

▲益々之れを擴張 して[illegible]地に應用する計畫なり[illegible]耕普及し羊を放牧すべき餘地少なく東蒙古に於ても西遼河以北の不毛地帶は鐵道開通と共に漸く耕地に化すべき運命あるを以て此の方面に於ても牧羊の餘地少なければ滿洲は東遼一帶及び西部遼東半島に於ける山嶽丘陵地帶と東部蒙古の

▲各地帶は牧羊地 として[illegible]を以て[illegible]地方に[illegible]小農の副業として羊[illegible]する爲めに[illegible]設けて良種を普及し飼養奬勵せしむる方針なりと（奉天）

黒省風潮眞相

張督軍の統一策に反抗

▲黒龍省に風潮再發して形勢險惡なる事は屢報せるが今齊々哈爾通信に據れば黒龍江省にては許蘭洲、英桂芳を逐ひて自から督軍となりたる後中央は巳に威信を失去せしが幸ひにして騎兵第四旅々長英順、歩兵第二旅々長巴英額の起つて之に反抗したる爲め中央は辛うじて調停の途を拓き許を奉天に去らしめ砲火相見ゆるに至らしめず僅かに中央の面目を江省の人民に對して保つを得たりと雖も又もや一種險惡の風潮を生じ意外の事變を發するに至るやも測り難き形勢に在り而して此形勢を馴致したる責任は依然中央に存するが如し

▲初め許氏と英巴兩旅長間の關係切迫するや政府は平和的解決を希望するの餘り特に之を奉天督軍張作霖氏に諮詢したるが張は之を了したる後其老参謀増手固に圖り冊は張氏に獻策するに此機會に乘じて三省の統一を謀り其軍權を一手に收むべきを以てしたるより張氏は直ちに其計畫に從ひ中央に對し鮑貴卿氏を薦めて黒龍江督軍に任せしめしものなるが鮑氏は素より好々先生の事とて抵任後何事か手に合はざる事件發生せば一々之を張氏に謀るが故に張氏は遂に鮑氏に對して奉天軍五營を黒龍江省に入れ其保護に當らしむべしと提し鮑氏も亦之を容れたりとの風說起り省民の恐慌一方ならず即ち奉

天軍は半數以上綠林の出身なるに一時に五營の入省を見るは陸路殆んど度無かるべしと云ふ者多く商民等は秘密に會議し人を派して北京に赴かしめ政府に對して奉天軍の入省を阻止せん事を懇請し一面英巴兩旅長に對して保護の方法を講せん事を要求せしが兩旅長は其部下の軍隊は目下江省に駐せざるにより奉天軍の來らざるに先ち之を豫防するに難きも天險の在る處又之を度外に置く能はずとなし結局軍事會議を開催したるが綏化駐屯歩兵團長李慶綠は挺身して曰く吾儕江省に在る事多年人民の生命財産に對して保護の力を傾注せざる無し今鮑督吾儕を閑地に置き奉天より軍隊を調來せんか主客の軍勢は勢ひ五に相容れ

ず四川第二を釀成するに至るべしと依つて所部の兵を率ゐて江省に進止し奉天軍の舉動を監視せんとし

▲茲に於てか英巴兩旅長は極力之を勸阻したるも聽かず敢然江省に向け進發せしを以て英巴兩氏は省城に至り鮑督に對して奉天軍の引入の中止を勸告し其善後方法に就き協議したるも要領を得ず而かも省民は鮑督を喜ばず逃次集會して鮑督驅逐に就きて協議するに止まらず其代表者を續々北京に送りて陳情せしめつゝあり省民既に斯くの如く江省軍人の鮑督に反感を懷く事も亦深く恐らく永く其地位を保つ能はざるべく若し強いて其任に居らんとせば事變の勃發は到底避け難かるべし（奉天）

狂瀾に投じて

人命を救ふ勇敢なる漁夫

慶尚南道[illegible]二十九日午前四時半仁川港外に避難し一漁船[illegible]揚げし德積島の漁夫[illegible]は二十九日午前六時頃小蒸汽船に[illegible]德積島の[illegible]曳き出し怒濤狂瀾の中に[illegible]本府記者の[illegible]北郡德[illegible]及び弟作[illegible]郎（三）[illegible]の三名乘組み[illegible]引しつゝ[illegible]返へしつゝ寸進を續けたり[illegible]附近に差しかゝる折[illegible]山なす浪の高低に引綱の一端は切れて共に起つて引網に縋り

流れ行く漁船の[illegible]せる二十九日午[illegible]に[illegible]風浪に[illegible]居たる原田は一[illegible]餘りも宙に跳ね飛ばされて狂へる海中に姿消わたり、それと見たる引船に乘り組みたる前記作次郎兄弟と外一名は船諸共に洗ひまんとする此の場の急も顧みず稍波の傳馬を下して之に移乘し狂瀾の中を幾を限りに絶叫して流れ行く原田の跡を浪の間に追ひ近づいては遮ぎられ離れては漕ぎ寄せ互ひに怒濤に漂ふ事三十分、漸やくにして近寄り忽ち波に躍り込んで早や九死の淵に浮べる原田を救ひて傳馬に乘せたり此時既に原田は虫の息にて今一分を遲るれば[illegible]奴の異中[illegible]命を賭して原田を救ひ二十九日夜半十二時漸やく仁川に入港せり一同の喜び限りなく之れ全く神佛の加護によるものと只管感泣せり

▲永登浦遷宮式 永登浦には豫て同地居住有志者の寄附により永登浦分監上方の岡に神祠を建設中なりしが此の程竣成を告げたれば十一月一日京城より谷村主典出張し神嚴なる遷宮式を擧行したり

大連印象記（一）

○滿蒙經營の策源地と云ふと何うか頭脳が締まる如何にもよく[illegible]に言葉に角があるが滿蒙の心臟をやら言葉を說明した言葉であらう
○兎に角滿蒙の首都大連は四角の所で、大連は何處であらう？大連は四角ん形な處であらうと大連は方形づくめの積み並べたやうな方形づくめの街風の市街であるとだけは聞いて居た
○汽車が着いてプラットホームに降りて穴のやうな處から石段を登つて之れから堂々たる停車場と思ふと、石段の上は直に道路であつたには一寸手が遠つて呆れた
○停車場前の廣場には馬車と俥が無數に待つてるが[illegible]の馬車や俥の賃銀の安い事も又意外である、一體俥が安いので大連では下女が郵便出しに行くにも俥に乘ると云ふ風だから結句は皆々が生活の割合に多くの車馬賃を拂つて居ると云ふ事だ
○日本橋から大山通を經て大廣場まで出る如何に小ぢんまりとした奇麗の市街だと云ふ感じがしたと煤煙まぢりの塵埃で咽喉が燥けてガサ〳〵するやうな氣がして突然に呼吸するのが恐ろしいやうな心持もする（長城生）

第七十五席

左甚五郎

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

宇の草堂を建て安置いたしたのが只今の駒形の觀音堂でございます後八幡太郎義家が奥州征伐の砌に駒を繋いだ、是れを駒止石といふ、それより今の處へ觀音堂を遷し駒形堂は馬頭觀世音といたしまつて小さなる御堂であつたのを源頼朝が信じて堂を建立いたしました、猶其後足利尊氏も信仰して七堂伽藍を建立いたしました、然て見るとそれまでは結構な堂もあり鐘樓堂もあつて大したものでありましたが、遂に炎上してしまひました淺茅ヶ原千束の里と申しましたで、此處に乳母ヶ池といふ大きな池がございました、此の池の邊りに一軒の家があつて此處に住んで居ります六十ばかりになる姥、十七八になる娘と見ねて母子二人で茶店を出して居りまする、其の頃のことである故旅人も稀でございますが、個々旅人が來ると宿を

と云ふかと思へば彼の美童の姿はパッと消失せました、是觀世音の化身でございまして旅人を助けんがために假りに姿を現はしたものと見わる、旅人は是に心付いてコハ堪らんと逃げて行く、昔から此の千束の里といふ處は惡い者が住んで居たものと見ねます、今でも千東町は魔窟と云つて顔の白いお化が居りまして、往來の人を見ると飛出して困ります、或人が惡ういふことを云つた

日は暮れて廓へ行くとも宿借るな千東町の白首の家

と云ふたが旨いことを云たものでございます、和婆さ老婆は旅人を殺して金を取て居りましたが、不在へ一人の美童が參つて宿の無心をする、娘は其處へ立出て斷はらうと思つて其の稚兒を見ると、色白にして兩眼涼しく如何にも美しき美少年故娘は思はず是に見惚れて遂に宿をすることになり、其の夜娘は揣案て彼の美少年に心の底を打明けて語りました、美少年は

釣すると雖も網打つべからずといふことを申しますが、釣は餌を卸して居る處へ魚が來てかゝるのだから魚の方が惡い、網といふものは何んにも知らず魚が遊んで居る處へベサリ打ちかぶせて捕るのであるから成程惡いかも知れませんが殺生は惡いが稼業なれば是非もござゐません、今議成竹成の兄弟が網を打つと光るものがした故早速に引揚げて見ますると、アナ尊いかな一寸八分閻浮檀金の觀世音の靈像でございました、是を見て仲知研臣が仲「あな尊や忝や」と伏し拜んで其儘我家へ持歸りましたが、漁具の穢れを厭ひ一

勸めて石を枕にさせ睡就いた處を上に釣してある石を落して壓殺して其の金を取る、娘は是れを見て悲しみ諫めると雖も是れを用ゐずして惡事を働いて居りまする、ス ルと或一日夕暮のこと、一人の旅人が差かゝつて來たが、幸ひ向ふに燈火が見ねる、彼の家を賴んで泊めて貰はふと池の端まで參りました、時に忽然と現はれたる一人の美童、池の端に立つて笛を吹いて居る、其の笛の音に氣を取られた旅人は思はず佇んで居ると、彼の美童麗しき聲にて

日は暮れて野には臥すとも宿かるな淺草寺の一ッ家の内

心して興に打臥す、處へ戻つて來た老婆、爲すましたりと喜び釣してある大石をバッタリ落すと、キヤツといふ悲鳴、老婆は手早く燈火を點けて其の居室へ入つて見ればコハ如何に美少年と思ひきや我が最愛の娘が石に打れて死で居ります、老婆は是を見てアツトばかりに驚いた

無病長壽を希ふ人ありや
然して津村兄弟商會の
人蔘エキスを
知らるゝ人あらば人蔘エキスに
親しまる方は一生健全也
京城本町一丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇

外科一般　皮膚科
泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

牛乳　御用は　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

大正六年十一月七日九星　暦九月廿三日癸丑　本命二黒坤宮先勝
[illegible]

演藝案内

本町五丁目　稲荷座　浪花節身振り芝居尾上京十郎一座
本町一丁目　有樂館　活動寫眞常設館
京城明治町　浪花館　電話二六〇
京城壽町　壽座　電話五七八番
[illegible]

電話二三六七　黄金館
[illegible]
電話八七三　大正館
[illegible]

合併披露大賣出し　本日より三日間
大安賣　仕候間急速は電話次第に多數の店員自轉車にて急速配達仕候
米　曾我商店
[illegible]

京城旭町一丁目（日の出湯前）　深堀屋牛肉本店　電話一五一九番
上ロース　百目金二十四錢
中肉　同　金二十錢
並肉　同　金十六錢
ブタ肉　同　金十二錢
カシワ　同　金三十八錢

急告
近來同業者中に弊社の名義を詐稱し電話又は訪問して葬儀の請負供花の寄贈を強請する者往々有之候間御注意被下度候御用の節は一應御確め被下度候
上御用命の程電話又は御來社を以て御用命の程
靈柩車及馬車設備有之候
株式會社　京城葬儀社　電話一六〇七番

山林用庭園用桑苗
果樹苗
定價表無代進呈
兵庫縣川邊郡稲野村字東野
播陽園藝商會
中島宇兵衛

仁川米豆取引所
[illegible]
連絡船上陸客　四日午前八時釜山入港新羅丸二[illegible]等客[illegible]
[illegible]

汽車
京釜線（南行）
同（北行）
湖南線（南行）
同（北行）
京元線（南行）
同（北行）

化粧かゞみ

白粉のはなし

桃谷研究試驗所技師
理學士 西澤勇志智

■有鉛白粉の塩梅合

一體理想的の白粉とは害と言ふものを別にしては古來日本で用ひられて居つた所謂る鉛で作つた白粉で、この有鉛白粉程白粉に必要なノビとノリ、其れから堅た色の白さや化粧崩れのしない等等の點に於てこれ位完全なものはありませぬが、而し皆様も御承知の通り

■鉛毒といふこと

に恐ひ一たび至りますと又是れ位危險な白粉はござるませぬ。鉛毒の害は今改めて私が喋々する迄もなく重くなると半身不隨になり生れもつかぬ不具者となることは珍らしくありませぬから如何にノビやノリがよくともあらゆる其れらの特長はこの一事で打消されてしまひます。

■俳優の舞臺化粧

は昔に於ては素より、今でもどうかすると鉛のあるのを使ふやうな人もあるので、斯ういふのは汗をかいても割合に化粧崩れせず、舞臺に居る中は毎も綺麗に見ゐるので、其れをお羨み遊ばす皆様は「どうして妾達のお化粧は崩れ易いのだらう。」と色々苦心せられる事ですが、併しこれは

■皆様の召す白粉と

此種の白粉とは性質が違ふので、

然し無鉛白粉は有鉛白粉に比較してノリやノビが完全でないから、どうかして前述べた白粉としての

■總ての特長

■御婦人の味方

桃谷研究試驗所といへば總ての化粧品に就て皆様も御承知の通り日本で最も完全なそして最も初めての研究機關で其經營の行き届いた上に、專門の先生達が熱心に種々研究を續けられ良い上にも良いものを作つて御婦人方の一層御滿足させられる容顏のお手入を完全にするに必要な品々を、安心して御使用になれるやうにと研究し皆様の御期待に副はれ申したいと努めて居られますから一々これがかすはキッと御安心くだ何彼につけ同じ種類のもの、中でもいつも一等安心して御使用になられる理です。恐らく御婦人方に取つては最も力強い味方かと存ぜられます。ついては試驗所でどういふ風に研究して居つか白粉はどの樣にして作られるかなど御婦人の是非御承知願ひたいそして面白い事柄を申上る事に致しましたから此の廣告は樂て第一面を飾ひます。又追々に御婦人の御化粧に衞生に其他美容に付ての新しい有益な記事をかく致しましたから御愛讀を御願致します。之も皆様の日頃御愛顧下さる御蔭のしるしであります。

を具へたもので加之も鉛毒の恐れの絶對に無い白粉が出來たならばそれこそ全く理想的の無鉛白粉であると思ひまして、私達は常々ここに眼を着けて研究を進めて行つたのですが、實際斯ういふ白粉こそ完全な

■模範的白粉

と言ふ事が出來ませう。幸ひ此研究のために其御白粉が世に現れ、皆様のお役に立つやうになりましたのは實に喜ばしい事であります。が、白粉の最も良いものを得るために、種々の材料を集めて、研究を續けてゐるのであります。

●どういふ場合に白粉が乘らないか

はしがき

婦人美容法研究所主任 小口みち子

試驗所で學術的に研究するのみならず實際日日御婦人の御化粧をなさつて居られる小口女史なども熱心に突き止め徹底的に御研究になつて研究上多大の御援助を下すつて居ります。

(其引例と手當の仕方に就いて)

一、睡眠の足りないため」これは中年以上の婦人によくある事で就中智識階級の婦人に最も多い。安眠が唯一の療法であるのは云ふ迄もない事ですが、安眠以外に最も眠を得た一時的の効果を得るには、第一に温浴、もつと簡單な方法としては、一猪口の葡萄酒上等の冷酒、餘り濃くない煎茶、コーヒー等を飲んで氣分を爽快にさへすれば、白粉はスラ／＼と乘つて終ひます。

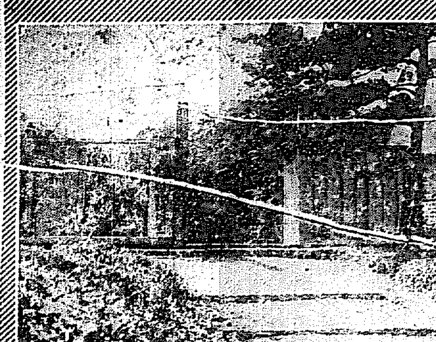
二、用水が硬水であるため」旅行をしたり又常に水道や其他の良水を使ひつけて居た時に突然硬水を用ひた爲に、大變な乘狂はせをするやうな例がある事を平素から用心して居なければなりません。此水は少し怪しいと感づいた時には、なるたけ石鹸を使はない事にして、洗粉か糠袋を用ひた方が宜しい。糠袋を濾してもみ出す湯がぬるいのはよくない。洗粉をとく湯のぬるいのもこれも惡るい。併し洗ひ落しゆすぎあげる湯の熱いのは尚更によくない事を御承知置き願ひたいと思ひます。かういふ場合に處する最も簡便にして安全且つ効果ある方法に就いて今研究中であり曙光を認めて居りますから追つて發表を致します。

三、空氣が甚だしく乾燥をして居るため」空がきれいに澄み渡つて、氷の厚いのが張つたり太い氷柱がさがつたりして居る嚴冬の朝鏡には隨分泣かされたつらい經驗の一つです。其上に冷い空つ風が砂塵を捲いて吹きまくるやうな事になつて來ると、これは一大事です。かういふ時に一番困るのは乾燥性の皮膚をもつた方です。昔から美しい肌のたとへにされて居たキメの細かい所謂羽二重のやうな肌をもつた方が一番泣かされるのです。化粧をする部屋に水蒸氣をたてゝ空氣を緩和させ、なるたけ熱量を保つ食物や飲物を攝つて皮膚を直接外氣に觸れさせぬ樣、又ストーブや炭火の近くに顏を晒さぬ樣にして、手際よくクリームを化粧下に用ひる事も一つの方法です。之にも乾度よい化粧料と用法を發見したい物だと苦心を致して居ります。

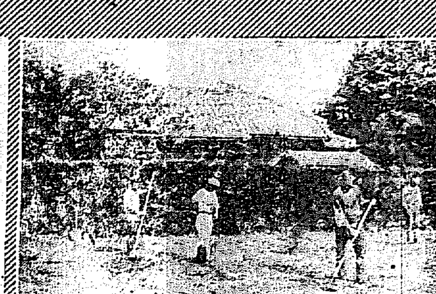
小雨がしと／＼と靜かに降りそゝいで居り、寒暖計の温度が六七十度の所を昇降して居るやうな日が、どんな方にでも化粧栄が一番發揮さるゝのです。

四、化粧用具を清潔にしないため」

こんな事はいはずとも知れ切つた事ですが、此知れきつた事がなか／＼馬鹿にはならないのです。祭で白粉を塗る時には充分に顏を洗つて置かねばなりません、白粉刷毛にクリームや其他脂肪の惡が知らず／＼の中に附着して居てそれがため白粉の乘りやのびを妨げらるゝ事がしば／＼御座います。刷毛類等は石鹸水でよく洗つて水をきつて吊りさげて置く事。急場の時にはアルコールか、ベンジンで洗浄して使ふ事。凡て不潔に汚れたものを用ひますと折角綺麗に洗つた顏や襟にそれがため白粉がのびないといふやうな思はぬ不覺を取る事が御座います。



桃谷植物試培園の正面



同植物試培園作業

化粧問答

(問)顏はどうして洗へば美しくなりますか。(田川房江)

(答)顏の洗ひ方も同じに洗ははや特に脂肪の浮き出る鼻頭は眉間下際、顎の邊は小鼻の脇等を細かに注意して洗ふ事。

(問)アブラが多くて毛孔に黒い花が出來るのはどうして治しますか。(下村うた子)

(答)上手な美顏術をする人に頼めば一番よいのです。其局部をタオルで蒸してマッサージクリームをすり込んでマッサージをするのも宜しい。

(問)お化粧のしかたで低い鼻を高く見せられますか。(よし子)

(答)見せる事は出來ますがこれは陰翳法への物です。鼻筋をいくらか濃くしてそれを頬の方へ向つて上手に淡くぼかして終ふ巧みな技術を要します。

(問)顏を生地から白いやうに見せる法を問ふ。(こく江)

(答)晝日か遠目ならば煉白粉も水白粉もよろしいが光線の明るい所では上等の水白粉をうすくつけて上に粉白粉を刷いたのが一番自然で美しい物です。

(問)顏のホクロは取つたらいけませぬか。(きく江)

(答)ホクロのある場所と色や形に依つては取つて終ふのが惜しい事もあります。外國の婦人方には態々書いてつける人もあります位ですもの。

■製造家の苦心

白粉の造り方は大概次に述べますが、白粉に限らず凡て化粧品は製造家の方では衞生上充分の注意を拂ひ、且つ皆さんの手や顏に直接に觸くのですから、化粧品を十分に發揮するだけの効力がある樣に作る祈るべきは勿論の事ですが、一方また化粧品を使ふ方は自分自身に申すに及ばず、他人の目にも快い感じを與へる樣にする注意が必要です。實際製造家は工場の設備を完全にし、原料を吟味し製品の清潔を保ち、芳香なども種々苦心を積んで一々に非常な苦心を積んで、遂に始めて完全な品が造られるのです。

桃谷研究試驗所内第二試驗室

◇白粉の原料の事

世に言ふ鉛製の白粉ならば、鹽基性の炭酸鉛を水で搾るだけで普通の煉白粉が出來る。けれども無鉛白粉となると、今の途數種の薬品を混合しないと、鉛製白粉の樣なノリやノビのよい品が出來ないので、其の爲め種々の原料が使用されるのです。其中で普通に用ひられる主なるのは、亞鉛花、炭酸石灰、炭酸マグネシア、滑石末、硼酸末、米粉、葛粉の樣な澱粉類、及びリスリン、アラビヤゴムの樣なものです。尚此他に製造家の中にはノリやノビを一層よくする爲めに、特殊の原料を加へる事もありますが、普通の品ならば先づ右の樣な種類の原料が用ひられます。

勿論是等の原料は、工業用の粗惡品を用ひずに、充分によく精製し、殊に粉類は純白で微細な粉末を用ふる程よい白粉が出來ます。

◇製造の工程の事

たゞ白粉と言つても、皆さんも御承知の通り、煉白粉、水白粉、紙白粉、粉白粉等種々の種類がありますが、歐米人は粉白粉や水白粉を多く用ひ、我邦では煉白粉が多く用ひられます。

煉白粉を造る順序を述べると、先づ前に言つた原料例へば亞鉛花タルクの樣なものを適當に配合してよく混合し、これに水及びリスリンの樣な粘合劑を加へて、少し製へるのならば乳鉢の中で、また大仕掛ならば器械に掛けて充分練つてから芳香を附けます。水白粉なら此時水を少し多くします。固煉なら少くします。通常煉白粉の割合なら粉十五分に水八十五分、固煉なら粉八十分に水二十分ぐらゐの割合です。

玉製又は型製は、これを一定の型に入れて乾かしたもので、粉製のものは原料を篩を通して後、攪拌器で充分よく混合してから芳香を着けます。紙白粉は粉白粉にゴム液や膠を加へ、刷毛で紙に摺附けて置くのです。

光榮いよ／＼加はり　一世の信用ます／＼篤き

純無鉛　美顏白粉

◇常に本品に御用仰付けらるゝ高貴方、貴族方の有難き御思召―謹みて微衷の意を表し奉つる

閑院宮家　東伏見宮家　竹田宮家　朝香宮家　北白川宮家　久邇宮家　梨本宮家　華頂宮家

一條公爵家　岩倉公爵家　大山公爵家　桂公爵家　松方侯爵家　德川侯爵家　細川侯爵家　黑田侯爵家　佐々木侯爵家　前田侯爵家　鍋島侯爵家　淺田侯爵家　中御門侯爵家　柳原伯爵家　土方伯爵家　渡邊伯爵家　戸田伯爵家

奥平伯爵家　樺山伯爵家　甘露寺伯爵家　上杉子爵家　保科子爵家　岡部子爵家　黑田子爵家　加藤子爵家　京極子爵家　阿部子爵家　安藤子爵家　安部子爵家　仁禮子爵家　西尾子爵家　金子子爵家　珍田子爵家　川上子爵家

山口子爵家　松平子爵家　牧野子爵家　水野子爵家　三島子爵家　岩崎久彌男爵家　岩崎小彌太男爵家　伊藤男爵家　三井八郎右衛門男爵家　三井八郎次郎男爵家　後藤男爵家　黑田男爵家　細川男爵家　船越男爵家　近藤男爵家　中島男爵家　岩村男爵家

（次第不同）

●桃谷研究試驗所の新事業

桃谷研究試驗所では、一般化粧品の研究を致しますばかりでなく、其の化粧品の製造に用ひる藥品や香料の類を、いつまでも外國から取寄せる事を遺憾に存じまして、

◇本年の三月以來

神奈川縣下金澤（東京より十里程）風光甚だ佳き海岸地の地に廣い地所を撰んで、藥用香料植物の試培園を設けました。これは桃谷研究試驗所の附屬の事業でありまして、其の試培の結果良好なものから、追々と藥品や香料を作る事になるのです。尤もこの事業は

◇政府でも御奬勵

種子を、內務省から御下附下さる事となりませう。斯樣にして此の方面にも桃谷研究試驗所は相當の設備を整へた事でございますから、將來は、幸ひ上等な香料や藥品がこの桃谷試培園で採れるやうになりましたら、皆様の御愛用になつて居られる美顏白粉を始め、其の外色々の美顏化粧料にも

◇純國產の原料

が用ひられる事になるのです。

この桃谷試培園の園長には、試驗所技師の米倉醫學士が兼任せられ、栽培主任には植物技師の宮川一壽氏が擔任せられ、これからは植物に就ての色々の面白いお話を

◇金澤だより

と題して、本紙上で御紹介する事となるさうであります。

この樣にして桃谷研究試驗所では、皆様の篤い御信任に悖らない樣に日々に力を注いで居ります。この試培園の委しい事も追々皆様へ御知らせ致します。又時期が參りましたら皆様にも是非實地を御覽に入れ度く存じて居ります。

光榮ある美顏化粧料を創製したる

桃谷研究試驗所

所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌達
同 藥學士 小磯勝次郎
同 仝藥學士 齋藤鋭助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
同 醫學博士 山本淳一氏

京城日報

六日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

五日後場（吹寄買込む）
三三、一〇　三三、七八　三三、七
三二、九八　三三、八八　三三、八六

…鄭州及び大梁正…諸器することを得たれば即ち第一特別區内に於ても…界に運輯しデキンソンロードの南方にある橋を起點として運河の内側に添ひ堤中にして其土は…窩邁…露はれつゝある位にて未だ完全に…大津…始め全浸沒區域とも此上再度の増水を來すことあらざるべく排水出來ざるも家屋内には既に少の水をも見ず此に於て天津市街…津浦鐵道は十一月中旬頃には西停…

支那漫遊
山海關
蘇峰生

十月十二日、昨夜の寒風にて、今朝如何あらんと思ひしに、天氣一變し、小春日和となれり。腐き…露臺の上に出づれば、庭に接する一帶の楊樹に、其の衛装を改めて…る也。庭上の雛頭は已に半ば凋…。コスモスは今が盛り也。やがて…昌洋行の連中に誘はれ、南門の上に登り、それより城壁の上を歩し、六角塔の魁樓を廻り、遂ひに東門の上、乃ち所謂る萬里長城の起點たる『天下第一關』の樓門の上に踞れり。

擧目天清し。壁上の側に亂生したる檜、柳樹は、極めて鮮なる朝風に戰ぎ、朝路の緩かに曙きたる野菊は、無心に咲ひ、鳥は羣をなして翔り、野夫は隊を成し、…を驅り、…せよ…の地より産する梨や、…を滿載して、關門を出でつゝあり。而して山海關市街の營は、手に取る如く開ゆ。

樓上より眺望すれば、南には渤海は海色を帶び、秦皇島に碇泊する汽船の煙を指す可く、北には…の居庸、古北、喜峰の諸口脈、蜿蜒として走りて此に抵り、其の聳ゆる所、角山と云ふ。而して其の中腹の窪地に、翠松滴るが如き邊、一堂、棲閣あり。是れ護賢寺也。而して長城の蛇の如く、龍の如く、蜿蜒として、海より延いて其脚を絡ひ走りつゝあり。更らに西南を望めば、烽火臺とも思はるゝ、雛…の爲然として、相ひ連なるあり。知らず是唐太宗の所築の五花城耶。抑も亦た明の中葉以降、倭寇に備へたる烽火臺なる耶。

關頭樓擁戰秋風。長驅如龍碧宵回。首中原無管仲。山河形勢爲誰雄。

知らず四萬の人中、豈に一個の夷吾なからんや。而して未だ一人の覇才を、見出さざるは何ぞや。

秦皇島

十月十二日午後は、山海關より秦皇島に退けり。此處は渤海灣頭、唯一の良港にして、且つ不凍港と稱せらる。されど五年に一回位は、凍ることありと云ふ。此港今や專ら開灤礦務局の支配する所となり、其の周邊は殆んと開灤の地たり。…中心に近く…地なれば、別に見物す可きもなし。但だ其の良港たるは、一目にも瞭然也。埠頭は一個…其の長さ三百五十呎、其幅三十呎、而して干潮の時十六呎の深さあり。開灤事件以來、此の埠頭に各國の鐵兵駐在す。…の上に、旭日旗をひるがへしつゝあるは、固より我が軍隊たるを知る可し。

大地は白沙にて、蜿岩蓋くる處、…て波打際となる。當面の渤海は、…波天に貼して、一個の眼を遮るものなし。北を顧みれば運波の如く、奇峰雲を衝きて屏列しつゝあり。而して西方山低く、海連なる處、夕陽漸く下り、其の周邊…中心に近く…、金と濃厚となり、鮮麗となり、五彩爛燗、血の如く、花の如く、火の如く、錦の如し。宛も是れ一幅の…來迎の圖、賑く所唯だ瑞…を見ざるのみ。

予等の宿したる旅館は、…旅館は、…早に…名を賦す所の如し。避暑客を當て込みたる旅館にして、今は一人の客なし。極めて靜寂なる食堂に、ランプの下に、英國流のロースト、ビーフを喫し、極めて窩…式の寢室の上に、快眠せり。今や又た燭を點じ、本文を草しつゝある也。而して予等は今夕を以て、方さに北京に入らんとする也。

大正六年十月十二日午前五時　秦皇島旅館の寢室に於て

米國に於ける刑事政策（三）
京城覆審法院　中村檢事長談

次に未成年者に對する犯罪處置の方針に…主義を離れて…つゝ有り、…國には年々多數の移住民あり…新來の…の…は忽ち…して…質朴なる…地に入る…的の信仰、…得る限り…放任の世界に…事を欲する爲め自然人心…延いては犯罪的傾向を生じ…其の子弟に惡影響を及ぼし、所謂不良少年の續出となり、少年犯罪者の群生となり、今や世界の文明國中に於て最も多くの少年犯罪者を出しつゝ有るは米國なりとまで稱せられ、政府當局も此れが防遏に惱まされ居るの情態にあり、さらぬだに雜多の人種と複雜なる國民性を抱擁して之れを統一し、同化し純粹の米國民化せしめんとして、汲々手たる米國の上下は、第二の國民の思想の混亂、道義觀念の頽落は此れ國家を滅ぼすの禍根なりとなし、之が救濟策、改善策に對し全力を捧げつゝ有る者の如く、司法上に於ても、痒きに手の屆く、愚か恰も腫物に手を觸るゝが如き態度を以て善導救濟に勉めつゝ有り、即ち未成年者にして罪を犯したる場合は特設の幼年裁判所に於て審判し、其結果改善の見込ある者は裁判前父母を召喚し、將來を戒しめて家庭の保護監督に委し家庭善良ならざる場合は公設の救濟所若くは感化救濟所に收容せしめ本人の性行容易に悛まる見込無く、且つ家庭不良にして子弟の教育上危險なりと認むる時は止む無く感化院に收容する。出來得る限り、温き家庭の保護教育に依つて、少年を改過遷善せしむる方針なり。而して裁判所に於ては少年犯罪者を因へて…も冷酷の待遇を用ゐず、如何なる場合も又た…たる立場に在つて、彼等を處分する而已ならず、裁判に當つても、公衆の冷笑嘲罵の前に曝らし、一旦悔悟をなすも…に立たせんか、忽ちにして、自暴自棄となり、遂には罪狀を昂上せしむるに至るを虞れ、裁判を公開せず、只直接關係を有する親族の傍聽を許すのみ、彼の花蕊かしき婦人が、悔悟の涙、潸然として法廷に立つ時、好奇心に驅られたる群集が先を爭つて法廷に突入し、補を引き眼を欹て、婦人の一擧一動に淺間しき好奇心を滿足せしむるが如きは、啻に罪人をして悲觀厭世を起さしめ、社會を呪はしむるのみならず世道人心に惡影響を及ぼすや言を竢つ迄もなし、此點は、我司法及警察當局の大いに考慮せざる可らざる處なり、裁判は成年者の輕罪同樣直ちに言渡をなさず、看護吏をして監督せしめ一定の期間内改悛の狀持續すれば刑罰を加へず、若し將來…の實あらんか看護吏の報告に基き更らに裁判をなし感化院に收容する事となり將た小中學の學童…教育に重きを置き…習得せしめ且つ職業…を授くるに努む…る事に於ては監獄…れつゝ有るは注目に値すべし

古錢（二）
常平庵主人

古錢を玩ぶ事は、支那にては遠く唐代に始まり、宋朝に及むで其盛を極め、之に關する種々の書物が古くから出版されて居る。我國では

△足利氏の末頃から流行り出し、元祿、寛政時代に造び最も盛んになつて、諸侯中此道樂に指を染むる者も少からず、富山、福知山、姬路の各藩主の如きは、京都に古錢奉行を置いて、古錢の買入及び鑑定に當らしめた位である、同時に民間にも熱心家が多く、此等御大名の御威勢に對抗するといふ有樣であつた。然るに近年俄かに此古錢熱が復興し、各地に蒐集家顯はれ、內地では、片田舍の古道具屋の店頭に迄古錢が列べられてあると聞く、京城にも、一時は二三十人の熱心家があつて、立替り入替り古物店頭を賑はして居つたが、近來古錢の出廻りが減つて、目欲しいものも無い爲か、愛翫者の足も大分古物店から遠のいた、夫れで今猶

△引續き熱心に蒐集して居るのは、仁川稅關長櫻井氏、土地調査局の柿本氏、長谷町高木氏及び斯く申す拙者位のもので、此外二三好者がある樣だが、其氏名等は詳く知らない。當通信局の松島氏は京城に於ける元老で、龍山の黑井恕堂君は此道の黑人であるが、共に當時は職を罷めて居る。尤も高木氏は、古錢に關する數多の珍藏を所藏されて居るけれども、氏は…手を延ばして…古錢に…遠ざかつて居るのを、我々同好者は殘念に思つて居る。古錢は…之を蒐集するも、…に之を研究すれば、若古上にも利する所尠くない、玆に其興味なるものゝ

△一二を述べて見よう、一、古錢は最も歴史的興趣饒しい、有史以前のものより、現在の通貨に至る迄之を集める事も、少しく熱心であれば左程の困難もなく、數千年の歴史を、一匣に收藏して樂しむ事が出來る。勿論書畫骨董には、古錢以上に史的價値を有する者もあるが、一部の鑑定家以外には其製作の年代を知ることが極めて困難である、然るに古錢は其時代文又は製作の形樣に依りて、其時代は誰にでも容易に分明する。二、古錢の樣式文樣は、其時代の文化を最も直接、且つ簡明に表顯す、之れは書畫骨董も亦同樣で、當に古錢のみに限つた譯ではないが、然し書畫骨董に在りては、其表顯は多く間接である。此擧は古錢に例證を求むる迄もなく、現に

△日常手にする　我銅貨が、其適例である。明治以降の銅貨は明治六年の制定以來、日淸戰爭前迄に發行せられたるものは、所謂丸龍圖式で、裏面圓圈内に龍の圖が附いて居る、右の龍の圖は清朝の國旗で、即ち彼國の通貨を模したものである、當時支那は老たりと雖も尚ほ東洋の大國で、李鴻章など有名なる政治家の出て、朝鮮をも屬國扱ひにして居た、我居留地に居ても彼國人は、…の大半を其手中に收め、我經濟界に隱然一勢力を成して居たるに、日淸戰爭の結果支那の國勢は衰運甚はなくなり、我國は之に代つて東洋の盟主を以て任ずるに至り、此等化が銅貨の圖式にも顯はれて戰後三十一年の貨幣條令改正で、從來の丸龍の圖を廢し、稻の圖に改められ、稻圖式は昨年更に桐章圖式に改まると共に

△銅貨の形量が急に小さくなつた、此形量減少の理由は地金の騰貴を見越した爲めであらうが、其形は泰西文明國の補助貨に倣つたものである。

霜の朝　石田富造

誰（115）
布施生譯

藏部は屈せず言を續けて『さう仰有るがそれで無くば瀬太の奴どうして合文字を手に入れます、それに鈴富以外に金を金庫に入れて置く奴は無い筈ですわ』嬢はそれでも納得せず『それぢやお其の金はどうなつたんでございます』貴嬢の眞意は直に讀めた『貴方が屁押しをなさつたのですから、お金は貴方のお手に這入つたのでしやう』と云ふ意味である、藏部はむつとしたが態と堪へて、嬢樣そんなに仰有ると今にそれを後悔なさる日が參りますぞ、貴嬢の仰有る言葉の裏は分つてゐます、よもやそんな心算ではないなどゝ言脱はなさるまいな』『勿論でございますわ』嬢が屈せず、言葉りそうな氣色を見ると保部夫人は心配して『藏部さう』と押止めた、藏部は愁然として『嬢さん貴嬢は餘りと謂へは餘りですぞ、私がこうやつて賴太の世話をするのは兄が最期の際に叶へたいばかりなんぢや、私が今來たのは人を責めに來たのでは無い、自分の義務と思ふ所を果しに來たのです』…から厚い紙幣束を取出して二人の眼前に推遣り、賴太の奴が盗つたのは十四萬圓でしやう、其金は私から返します、十四萬圓と云ふと私の有金の半分になるが、なおに惜しくはありません、もしや賴太郎の行方がまる事なら發除の十四萬圓も棄てゝ構ひません』嬢は之を聞いて孤につまゝれたやうな氣拔がした。夫人は夫人で之を見ると吻と安心の息をついた『まあ有う〳〵お氣の毒』と禮を言ふのを見て藏部は喜びに眼を光らせたがしかしそれは暫くでもあつた、嬢は忽ち彼の好策を見破つて『此お金をどう致すのでございます』と問かけた、『伯父樣區へ返せば可いぢやありませんか』『返すたつてどうして返します、そんな事をすれば賴太郎さんの罪を素破抜く事になれば伯母樣にも飛沫が懸りますわ、此お金は戴けませんから何卒そちらへお納め下さいまし』『成程偉の證は分りました、いかにも何か別の方法を考へ出さなければなりません宜しい、しかし嬢樣、もう私とは話が付かないやうですぞ、もつとお手柔に願ひたいものや。』惡じなから藏部は其紙幣束を取收めて財布に藏つた、嬢は羞もせず『それやお約束ですから貴方の處へは參りますわ、けれどもそれより先にしつかりした保證を戴かなければなりません』と『どんな保證ですかな』『私が參りましてからはもう賴太郎さんが伯母樣を嚇かさないと云ふ保證でございます』『私が賴太郎さんのやうでは私が持て參る僅少のお金なんかは眞正に何でもございませんよ』私がなのでございます、ですから是非貴方の處へ參るのは伯母さんの爲證だつて、何か保證を戴かなければ』『保證だつて、そうすると貴嬢はどうでもこうでも私の眞實を認めなければならなくなりますぞ、貴嬢は一體私の眞實を疑つて被在る、ぜうして私の眞實をお目に懸けましやうかな、一つ鈴富君を助けて見せましやうか』

本紙定價　一ヶ月金…　廣告料　…
發行兼編輯人　…　印刷人　小山…之介
發行所　京城大平通一丁目　京城日報社　電話…　振替貯金口座京城二〇〇番

法人登記公告
平昌地方金融組合登記事項中行政區劃ノ名稱ヲ變更ニ依リ登記事項中住所ヲ左ノ通リ變更ス
江原道平昌郡平昌面河日里…
右大正六年拾月貳拾七日登記
京城地方法院平昌出張所

英獨佛夜學開始（ベルリツツシステム）
來月十五日より
講師　法學士　…　工學士　…
入會隨意
京城太平通二丁目七十三番地　京城外國語夜學會

最新刊
遞信局…
大阪屋號書店

競賣廣告
支那鮮書畫骨董品
競賣仕候條御來會被下度候
今回…珍品…
十一月六日正午ゟ競賣
會場　原金旅館樓上
札元　京城美術倶樂部

字探し懸賞募集
サント萬年筆
此の廣告中に萬の字幾字あるか
…

實業之日本
南洋に於ける久原
大飛躍
三菱改革物語
株式の騰落
判斷の仕方
精神的潛勢力
校長通信
義商出でよ
爭ひ長者儲け帳
資金運用
製銑能力
商賣は一種の交際
心得べし

釀造用諸材料騰貴並に古酒拂底の爲め本日より
清酒　大樽壹樽に付金貳圓
小賣　壹升に付　金五錢
右値上實行致候也
大正六年十一月五日
仁川酒造組合

鑛務員　速成講習録
珍書
魔術千里眼
實行自在
練習せば容易に出來る魔術の秘傳
心中千里眼
特價六十五錢
景品　金指輪一個贈呈

◎英驅逐艇隊奮戰

英國驅逐艇隊はカテカット海峽にて去る金曜日獨逸補助巡洋艦マリーオフレンスブルヒ號及び獨逸漁船十隻と交戰し敵艦乘組員六十四名を救助し之を捕虜とせり右生存者の中若干名はコッペンハーゲンに上陸せるが右生存者中司令官ローテルバッハの談に依れば獨艦の大砲は英國驅逐艇よりの猛烈なる砲火を蒙りたる爲め殆んど全部之を活動せしむること能はざりしと而も此の戰鬪にて英驅逐艇には何等の損傷なし(倫敦電報)

◎露都又入市禁止

露國臨時政府は八月八日附告示を以て戰爭繼續中露都入市を禁止する旨發表せり公用又は商用にて入市の必要あるものは許可書を要すと(露都電報)

◎露國鐵道の危機

露國代理大使[illegible]露國の形勢に關して政府に答する際[illegible]河流の[illegible]地方にて石炭の産出著しく減少し今や全國の鐵道運輸に支障を來さんとする傾向あり(露都電報)

◎露國國慶日決定

露國臨時政府は革命の第一日即ち三月十二日を以て露國國慶日と定むる法律案を裁可せり(露都電報)

◎美術品類禁輸

臨時政府は美術品及び古器古物の海外輸出を禁じたり(露都電報)

◎戰後通商準備

西伯利亞消費組合聯合會は貨物の貿易に關する事務所を改設せんとしつゝあり而して其の目的は戰後に[illegible]知の途を開く準備と內外市場に關する知識を修得せんとするに在り(露都電報)

◎露米鐵道技師

二十名浦鹽著

西伯利鐵道工事の爲め派遣せられたる米國鐵道技師二十名浦鹽斯德に[illegible](露都電報)

◎伊軍敵計畫阻止

伊國大本營[illegible]日附け[illegible]メント河の我戰線方面に對し[illegible]なる販路を[illegible]へたり同河右岸に達せんとする敵の企畫は我軍の[illegible]に阻止せられたり(羅馬電報)

◎小紙幣出市期

十日中央金庫へ

小額紙幣は來る十日大藏省より中央金庫に交附し中央金庫は即日各支金庫に送るべしと(東京特電)

◎支那武官一行

六日安東縣通過

支那視察武官の一行は陸軍少將[illegible]六日午前六時三十分安東驛通過東上の筈(安東縣特電)

◎東洋信託進捗

社長以下內定

豫て計畫中なりし東洋信託保證取引所は社長に[illegible]氏以下重役內定し來る十九日より株式公募を開始し來年早々上海取引所開始の豫定なりと傳へらる(東京電報)

◎京都府學生來往

京都府[illegible]學校[illegible]生徒四十二名七日午前六時三十分奉天より來安の豫定なり(安東縣特電)

◎鍋島子令嗣北行

鍋島直縄氏(舊肥前鹿島藩主)[illegible]子令嗣は五日朝連絡船にて著釜直ちに京城に向へり(釜山特電)

◎北白川宮殿下

門司御歸著

豫て御渡鮮遊ばされたる北白川宮成久王同妃兩殿下には日本郵船會社汽船備後丸にて五日朝門司に御安著あらせられたり(門司特電)

◎總督郷里に向ふ

長谷川朝鮮總督は五日朝下關著直ちに郷里に向へり(門司特電)

◎龍居理事南下

龍居滿鐵理事は五日午前六時三十分安東驛通過南下[illegible]

◎物價騰貴と地方經濟狀況(七)

京城商業會議所調査

▽慶尚北道(大邱地方報告)

▲工業土木建築 其の他職工勞働者を使役する營業に付生産費又は事業費勞働賃金其の他企業經濟に及ぼせる影響も今日實際に於て未だ其の著るしきを認めず、尤も多數者を使用するものに在りては食品の騰貴を見るに至りたる結果生産費の増加となるべければ生産品の格騰貴は免れず被傭勞働者に在りては生活費の増加するに反し賃銀の増加なきを以て生計に困難を感ずるを免れず尤も九月一日より左官業者に限り二十錢(一人役)の値上げを斷行せるも其の他は依然増加せず

▲細民の生活に及ぼせる影響 [illegible]るに市內の細民勞働に依りて日の資を得る者多く一人一日[illegible]二十六、七錢乃至五十四、五錢[illegible]勞銀に依り[illegible]日を過すも[illegible]物價騰貴[illegible]

▲迎日郡地方 五月以來米價の騰貴に伴ひ諸物價一時に昇騰したるを以て細民(小作人勞働者)は生活上甚しき脅迫を感じたるも本月に入り麥類の收穫を見たるを以つて自作、小作農等は生活上に一小康を得たりと雖も普通生計費以外特に奢侈に屬する費用は各[illegible]節約するの傾向を[illegible]

◎大連築港狀況

▲防波堤完成 大連防波堤は一昨年沈降せし西北防波堤の復舊成り同時に北防波堤[illegible]

▲燈臺据付 西北防波堤北端[illegible]口に新設せし燈臺は三方面よりの目標に便したるものにて數日前落成[illegible]百尺約九十萬圓なり

[illegible]業にて本年度にて工事の約七分二厘を竣工し落成は豫定より早かるべき見込なり右基礎工事は大體の方塊七分ガ厘据付け岸壁の竣工せし部分は[illegible]場所は面坪六萬七千坪の埋立坪にて其中二十四萬立坪の埋立を終り次に長門町に面する一面[illegible]一部の埋立は昨年より[illegible]

[illegible]港明年度の經費豫算及工事計畫は未だ定まらざるも大體左の如し[illegible]

◎工業地としての朝鮮

=南滿製糖と青島麥酒=

京城電氣社長 大橋新太郎氏談

京城電氣社長大橋新太郎氏[illegible]

▲電燈値下問題 [illegible]

▲石炭及び水力 [illegible]利用に便利なる河川が無いと云ふ事が先づ何よりも憾みと云はねばなるまい水力も人爲的落差等によつて動力は得られるが兎角事業の經營には經濟的動力と云ふ事が必要だから之が出來ない以上獲取された動力は何の役にも立たないと云ふ事に成る

▲南滿製糖會社を見に行く [illegible]耕地に甜菜を栽培して此の十月[illegible]から收穫に移る運びとなつて居るが之れは甚だ際どい所で[illegible]たのである[illegible]露西亞から種子を取り寄せて[illegible]革命後だつたらとても種子の購入は六ケ敷かつたかも知れない[illegible]

▲獨逸人の經營 青島麥酒會社を今度大日本麥酒會社が經營する事と成つたので[illegible]役と云ふ肩書を有つて居る[illegible]一寸立寄るばかり青島には例の[illegible]

◎共通法規案の經過

今期議會の協贊を經て公布されむ

共通法規は二日の閣議に於て決定せしは本紙既報の通りなるが之れ[illegible]同法規は多年の懸案にして內地對朝鮮、及臺灣の如き[illegible]地との法[illegible]外國關係に比するも不便更に甚しく[illegible]に在りても共通法規制定の必要[illegible]を編いて中央政府に廻送したる政府に於ては更に法制局をして之れに基き其の法規案を編成せしめ務院審査の結果愈々今回の決定を見たる次第にて本法規は政府案として之を今期議會に提出す可く其の協贊を經ば直ちに公布施行の運びとなる可し

[illegible]漢城銀行專務、洪商業銀行取締役、阿部本社長[illegible]內京城府協議員[illegible]成れる舊數十名に達したり席定まるや趙子爵の謙譲的一場の挨拶あり阿部本社長は來賓代表として答辭を述べ漢南兩組合妓生の餘興數番ありて頗る盛況を極めたりき

觀瀾亭雜爼

蘇峯生

○如何なる團體にも、其の中心人物あり。雁に雁奴あり、蟻に蟻王あるが如し。一村には一村の中心人物あり、一郷には一郷の中心人物あり。之を擴げて一國の上に見るも、亦た一國の中心人物なくんばあらず。

○所謂る中心人物の資格は何ぞ。必らずしも一概に論ず可らず。或は智を以て優り、或は德を以て優り、或は力を以て優る。然も如何なる場合にも、中心人物には、多少の獻身的精神あるを要す。別言すれば、其の團體中の誰よりも、より多く其の重荷を分擔する者にして、始めて中心人物たるを得可きのみ。

○責任を、[illegible]後や、其の[illegible]可也。然も決して之を負擔す可らず。何となれば、之を負擔する者の智愚、强弱、賢不肖の均一ならざれば也。但だ其中に於て、有力者中に、責任本位の者あり。之を以て始めて團體の步調を揃へて、聚力一致の運動を做すを得可きのみ。

○然も若し萬一にも、其の有力者にして、我利本位、利己本位ならん乎、團體の戰鬪は、乍ち破壞す可し。孟子の所謂る、上下交も利を征して、國危きもの是れ也。我が維新の大業の成功の如きも、其の一半は、實に有力の一郷の善士たる可き者の獻身的精神の効果のみ。天下の善士たる可也。但だ善士たらん者は、他よりも多くの重荷を、擔はざる可らざるのみ。

◎警察官異動

三日附を以て左の如く異動ありたり

前任地	新任地	氏名
警務課	忠北警務部	中島健三
保安課	黄海道警務部	中口光太郎
清州署長	清州署	齋藤金藏
永川署長	永川署	野口代三郎
黄州署長	忠南警務部	田部正能
忠南警務部	黄州署長	岩崎信平

人事

▲新島公永氏(臨昌洋行) 五日夜入京

▲日外一[illegible]

▲[illegible]

▲龍[illegible]氏(總理事) 同上

▲森島彌四郎氏(大邱 辯護士) 五日夜不[illegible]

▲小松[illegible]氏(朝鮮製糖會社員) 同上

▲[illegible]氏(日本相撲協會員) 五日夜出京

百譚百種

奧田前東京市長が去年其の手帖を調べて見ると▲各方面からの借金が十七萬五千圓あつたが▲債權者が一人として請求して來ないのみならず整理委員に借用を申出たのは近來の美談として傳へられて居る▲處が之れに類似した話が[illegible]▲或る學者が最近大岡子爵家の記録を調べて居たら▲彼の名奉行大岡越前守の遺書が出て來た▲其れに依ると越前守歿後にも人の知らない多額の借金が出て來た▲而も貸人は當時の高利貸で何れも質の好くない連中であつた▲與田市は借金返濟を十年計畫として遺族に返すに[illegible]の百姓に課役してはならぬと云つた▲餘裕ある毎に若干づゝ漸次返濟の方法を命じてあつた▲處が相續者が一々債權者を調べて見ると▲申合せた樣に貸した覺はないと云ふ▲其れでも此の通り遺書にちやーんとあると云ふと▲成る程何時か御用立た事がある樣にも思ふが、と云つて請求書を出さすと▲貸額の一割にも足らぬ金額を申出た始末▲傳へ聞いた幕府でも之れは捨て置けぬとあつて債權者を召び出し內帑から支拂ふ事にした▲處が又た申合せた樣に貸した覺はない▲よしあつても大岡樣に御用立てた金は返して貰つても受取らぬと言張るので▲幕府でも致方なしに下賜金として取拂いたそうだ▲大岡の奉行と好一對の逸話のあるのは面白いではないか

◎普通學校費決算

大正五年度京畿道公立普通學校費歲入出決算を聞くに左の如し

▲歲入之部 經常部[illegible]▲臨時部[illegible]▲合計[illegible]

▲歲出之部 經常部[illegible]▲臨時部[illegible]▲合計二十一萬[illegible]

◎大橋氏入京

京城電氣會社々長大橋新太郎氏は五日夜九時南大門驛著列車にて內地より入京朝鮮ホテルに入れるが氏は兩三日滯在の後兼二浦に立ち寄り直ちに奉天に向け出發の豫定なりと

◎牟田口氏入京

朝鮮輕鐵專務

牟田口氏は五日夜九時南大門驛著列車にて大邱より入京朝鮮ホテルに入りしが氏は十日頃再び大邱へ引き返すべしと

◎趙子爵誕生祝宴

子爵趙重應氏の五十八回誕生祝宴は五日午後一時より永樂町の子爵邸に於て催されたり來賓の重なるものは白銀行頭取、趙同行取締役、韓[illegible]

▲大山埠頭改善

露西亞町大山埠頭は既に六七十萬圓を投じたるものなれば[illegible]

▲第四埠頭計畫

築港工事に關しなほ川路所長の語る所に依れば第三埠頭にて大連港も一段[illegible]

京日案内

普通 五十一回(金)[illegible]

▲申込[illegible] ▲六回以上[illegible] ▲御照會[illegible] ▲御照會の節[illegible]

●讓株 朝鮮煙草株式[illegible]金五十圓拂込[illegible]五十乃至[illegible] 本町一丁目 野村[illegible] 765

古本買入申候 電話[illegible]

●ゴム風船ゴム袋[illegible]ゴム[illegible] 迷京城[illegible]

●醫院 姓名在社

●店員入用 十七八歳より[illegible]

[illegible]人を要す[illegible] 京城南大門通[illegible]

大書[illegible]

◎鑛物定量分析

支部前通り 田部分析所

◎銃砲火藥 獵具

京城本町三丁目 增戶銃砲店 電話二〇九二番

銃砲火藥獵具

京城南大門 本店仁川 支店青島 藤木銃砲店

貸家

白水 旭町一丁目 水道呼出電話あり 電話一三九一別三一〇〇 一七一四 白水

貸家

新町八番地 京城旭町一丁目 電話一三九一別三一〇〇 一七一四 白水

恩給

年金五年半分迄 低利無擔引即時 立替 若草町百六 電話三千十一 西村商會

これからの御馳走には 氣の利いた湯豆腐

物 湯豆腐 業開

弊店儀歸國中休業致居候處今回歸京熟練なる板前を雇入れ極廉價を以て勉強致候間御引立願上候

京城旭町二丁目(大久保辯護士横道) かりがね 電話二〇〇一番

花柳病外科専門

●梅毒 ●淋病 ●泌尿生殖器病 ●痔 ●肛門病 ●皮膚病 ●婦人病 ●神經衰弱 ●ヒステリー

京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六八番

大邱河陽間 營業開始

大正六年十一月一日

朝鮮輕便鐵道株式會社

三矢酢造

最上清酢 植山本家

朝鮮醸造品評會に參考として清酢出品を致し内只我が三矢最上清酢のみ頗る優良なる證明を拜授致候

京城本町四丁目 植山伸次 電話三〇七五

蠶種と桑苗

豫約御注文の最好期!

蠶種に對しては目下特に貯藏冷藏水庫建設中に付手品の有居候勿論貯藏御依頼にも應じ得る見込に御座候 各種桑苗も優良なる現品多數用意持合居候

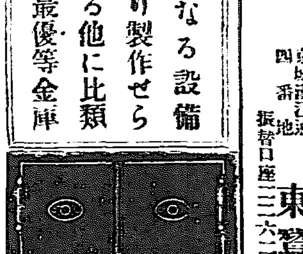
京城漢江通四番地 東蠶社種苗部 振替口座二三六二番 電話龍山六四一番

竹内製ベトン式金庫

偉大なる設備に依り製作せられたる他に比類なき最優等金庫

竹内製金庫 消防器具 洋家具 歐風事務用具

京城本町 熊平支店



山東芝罘は各種果實の産地にして特に葡萄に名あり同地張裕公司は墺國の有名なる技師を聘して此の優秀なる葡萄を原料としてブランデー二十有餘年前より赤白葡萄酒並にブランデーを醸造して非常に各方面の嗜好に適し多大なる好評を博し且歐米各國の大博覽會に出品して數度最優等の賞牌を受領し其卓越せる風味ご滋養の豊富にて製品の純良なる事を證明せられたり今般該公司は販路擴張の爲め特に弊店に其の販賣を委托せられたれば何卒御愛飲御用命の程願上候

其他特等絹類、各化粧品、珍味なる罐詰類等各種取揃有之候 價格も低廉に販賣可仕多少に不拘御下命願上候

絹類雜貨卸商 京城府觀水洞拾九番地 安利號 電話二〇七二番 振替口座一〇六八番

…全部完成を告げたり右防波堤は西…及び中の一部に分れ前者は一萬二千五百尺工費…三百三十五萬圓にて東防波堤は第一期の工事に係りしものにて一千…當初五百萬圓なりしが實際の工事費は約百三十餘萬圓を節約し得たり

▲第三埠頭　工事は大正二年より同八年に亘る七個年の繼續事業にして…五十尺の側面四百八十尺なり而して岩壁の全長は五千三百尺なり

▲埋立事業　築港に伴ふ埋立は第三埠頭の工事に關するもの大部分にて同埠頭のヤードに要するを…

▲浚渫工事　港内の浚渫は…作業にして著々工事…つゝあるが浚渫作業は埋立と關係し埋立の地所及び工事と歩調を保たざるべからざる關係あり大連…なり

▲…　好の成績を擧け各店舖共に早くも…揃ひに著手せり常盤街は諸所道路…坪なりきた明年は石油棧橋の改善として相當面積の埋立を行ふ計畫…するものなり

…擴張を…日には大山埠頭の…一年十五萬噸の多額に…内地には相當地位の港に匹敵…らん其時に於ては位置の關係…第三埠頭に接する能はざれば…方に離れて造る必要あり其曉は大連港の面目は一新するに至るべし

● 京畿秋蠶狀況　十月末現…にして…於て千五百二十五石都立…て三千百九十三枚の孰れも…加を…し繭産額に於て五百…石の減…に依るものなりと

●第二大田括入札　大田本町二丁目學校組合事務所前道路より中學…

王朝時代の面影を
―想ひ出させる朝鮮の風俗―
史蹟名勝天然紀念物保存協會幹事　戸川殘花氏談

徳川公爵の主宰せる史蹟名勝天然紀念物保存協會幹事戸川殘花翁は朝鮮史蹟踏査の爲め去四日入京…町…旅館に滯在中なるが語りて曰く

自分の今度來たのは關野工學博士等に勸めらるゝまゝ、朝鮮の…を見て置く必要があると思つて…手數を待たない…遊んで、…寺等朝鮮…の古建築物を觀たり…ひ立ち、途中平…の…いふ嚴島神社に詣で

×突然朝鮮へ　渡つて來たものである。嚴島に於ける所感は

滿盛の見し月見たり嚴島

といふのであつた。其れから朝…殊に京城へ來ると…博士の說の通り、成る程王朝時代の風俗…

…人…頭に…をしてゐたのを…見たが、あれは我國に於ける富士山とか三つ峠山とかの

×行者その儘　の風俗であると思つた。…と云はんより…王朝時代の古風俗と…保存し…見たら必ず…多く…

×洋畫の題材　…すゐのに極めて適してゐる。故に洋畫の…物研究には好個なる地であるから、朝鮮に洋畫の學校を起したら…の色は如何にも色彩に富んでゐて…等を漫遊する心算である。

□兩陛下御下賜
東洋大學と女子職業學校の光榮

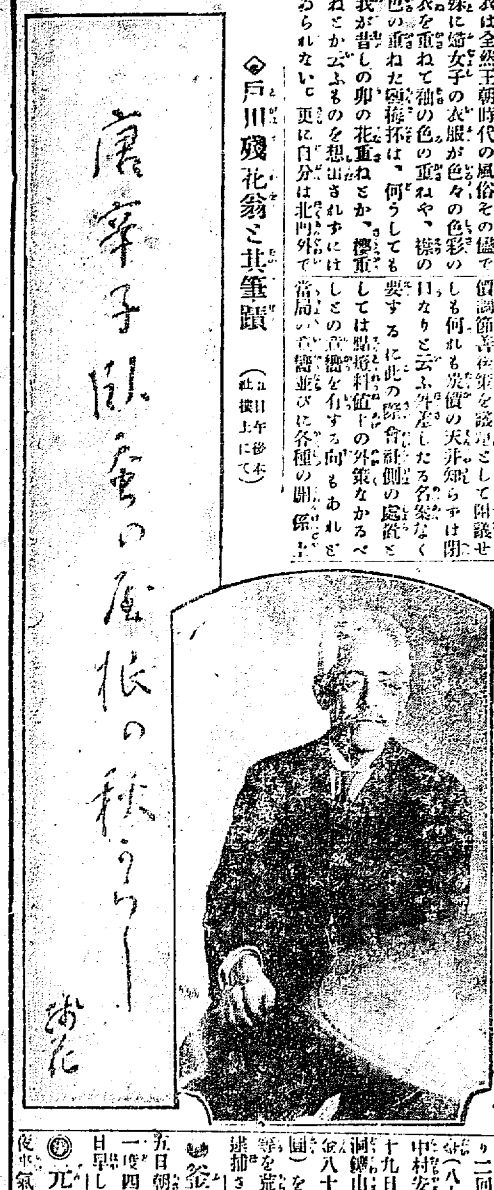
天皇陛下には東洋大學開校三十年祝賀會開會の旨… 召され五百圓の御下賜金ありたり尚皇后陛下には神田女子職業學校…事業擴張の趣聞召され三千圓の御下賜ありたり（東京特電）

唐辛臥雲の屋根に秋寒し

と思ひ浮べつゝ――城壁や城門の築き方を見ると、必ずしも其全部とは云はないが、何處か江戸城乃至大阪城の一部と似通つてゐる所があると思つた。又た…人街の海泉壁も、…人家屋の窓の格子等を髣髴せしめる所が多い。――その時…

×奈良朝時代　の構造に酷似くりである。それから婦人の被衣は全然王朝時代の風俗その儘で殊に婦女子の衣服が色々の色彩の衣を重ねて袖の色の重ねや、襟の色の重ねた襲裲襠は、何うしても我が昔しの卯の花重ねとか、櫻重ねとか云ふものを想ひ出させずにはゐられない。更に自分は北門外で…

◇戸川殘花翁と其筆蹟（五日午後本社樓上にて）



◎巨砲の威力
を發揮して
海軍演習終る

…演習は三日より第四期に入り攻防兩軍は對馬水道にて大衝突を爲し巨砲の威力を發揮し潜航艇の夜襲航空隊の爆彈投下、水雷發射等あり四日未明中止となり攻防兩艦隊司令長官…佐世保に向ふ…要港…陸…釜山に出で佐世保に向ひたり（馬山特電）

◎電燈料値上か
炭價暴騰の影響

本月三、兩日京城電氣、瓦斯…に開會せし朝鮮電氣協會…時…の如く炭價…に對する…策…のため全鮮十五會社代表者出席…より提出せし…價調節等を議決して閉…せしも何れも炭價の天井知らずは…要するに此の際會社側の處置として電燈料値上の外策なかるべしとの…當局…各種の關係…

◎風變りの患者
揃つてゐる
目下頃の精神病室

…總督府醫院…の第八號室と云へば…鮮人の精神病者を收容した…病室で…あつて男十六名女…名計二十四名の内鮮人患者を收容してゐる。此の内…人中には…人…好い…居るのが…きも忘れて、時々想出した様に…一種に光線が好く入つて…神病院の北では…下收容中の患者は全部で左の通りである。

▽元郡守が　ある外は、例の…自選…府へ…けて行つたといふ坊主上りの…クキシン（鬼神）に…男や、…つて矢鱈に人家へ火を附けて…世間の人を温めて遣らうといふ厄介者…がそれ相應の特色を發揮してゐるが、内地人の患者は若い男が三人と

▽四十幾つ　の中婆さんが一人ゐるきりである。此の老婦人…

◎電車事故多し
乘客と通行者の不注意

五日午前九時十分頃京城電氣株式會社の龍山行七十六號電車が…町停留場にて停車せんとしたる…社…公順（…）…風…（…）の…か材木を積みたる荷車の…りて衝突し…に…擦過傷を負はせたる…に…せ…八時頃…前…傷…

△…三日午後…大門通一丁目…二番地先で…調べる者…頭を打つけて…傷を負へり

◎今年は暖爐が高い
昨年の約三倍

北山も凍てつく…吹き出せば…やがて木々の葉…散つて…破れ目から刺す様な…暖爐の…も…今年…

△暖爐の取…

…今は七八分通りは…例…師走…を開かねば準備…一般市中でも…の…氣…に怖気づいて…取附を始めたので…工場から…丁々の音…來る。暖爐の相場は昨年の十一月頃に比べると…棒な…で十三四圓…買へた…製の…が卅五六圓…。

△…の大か　十五六圓…十二圓…京城市中何處の…

△昨年に比し　て三倍にも…居るので…十二枚物で一本…尺一圓五六十錢と…高値を…呼び…板で作つた煙突さへも一圓以上もすると言ふに至つては…なきだに懷寒い需要者に取つては寒心の外はない（…）

…商店…探しても…材料となる…板は…業者が…前途…とあつて…入しない爲め京城に於ける在庫は拂底して居る…相場も…

◎檢事死刑を
要求す

…平安南道…四回公判…件第四回公判は五日午前十時より…地方法院刑事…人に開かれ檢事の請求に係る…外二名の…人訊問あり…件…告三名に對し死刑…求刑を…せり…判決言渡は十二日午前九時（…）

◎火藥庫爆發
下士一名即死

五日午前七時…橋野戰砲兵第二十…聯隊火藥庫爆發し下士一名即死せり損害及び爆發の原因は目下取調中（…）

◎關門地方荒る
…關門地方にては四日夜…風あり石炭…船五隻沈沒せり（門司特電）

◎鴨綠江に流氷
…北地方は氣温頓に下り五日朝…氏二度を示したり鴨綠江に流氷を見る（…）

◎胃箱を盜んだ賊
…京…縣…郡…村生れの…犯松…元事…は本年九月以降に…裏…浦、…浦…新…州…千…等の内…で小泥棒を働き京城南大門…の…内地人旅館…に…在中の…の…田…帽子…衣…を盜み…大田…永同…に…釜山に入り…活動…を…て…も…に…見て…を…きた…署にて取調べ…泉…署にて旅客の荷物を…取し…に…を…を…す…と…納…めあるを…發見したりとて…居れり

◎内地人に化けた賊
…慶…陽郡…道…不…三丁目自轉車商鍋谷…方に…文（二…）は十月十一日以降に…り二回に賃借り名義にて自轉車（八十四圓）を騙取し村田萬吉、中村安太郎と僞名して入質し十日十九日には豫て雇はれゐたる…洞…山…業村田萬吉方に忍び入り現金八十圓衣類雜品十七點（七十一圓）を竊取し其の他數個所の空家等を荒しゐたる所を本町署に逮捕さる

◎釜山の初氷　釜山にては五日朝初めて薄氷を見たり温度は一度四昨年より廿三日平年より…日早し（釜…特電）

◎元山の初雪　元山は四日夜…氣温頓に下り…日朝零下四度…

◎理髮業者へ示達　京城本町署にては木月一日以内…町…の内鮮支…人…髮業組合役員全部を召集し…上の示達をなしたり

◎坑夫の大怪我　二十三日午前十一時…北…郡…鑛…の坑内にて二名の鑛夫…は…崩壞し同…夫作…は…にて…下敷となり…折…一時…の…血を爲し人事不省…應急…を施したるも生命危篤なりと

◆改譯聖書
改譯上の苦心談

…近く發表される…改譯…の聖書は…に用ゐられつゝ…聖書は文體…が…不完全な者が多いと云ふので今から

◆七年前　別所梅之助、デビソン、フォース、藤井寅一、グリン、ハーリントン、…松山高吉の八氏を委員として改譯事業に著手し…箇月中には…の…きであるが、此に就き某委員曰く…改譯の事業が發起された理由は現在の聖書が翻譯されて後世界の學者の

◆寫本を　多く發見し現在の翻譯に用ゐたテキストよりも更に完全に近いテキストが出來たので…翻譯に用ゐた文章や字句の上にも不完全な點が發見されたりした事にあるの…今度の改譯は…

…於けるテキスト中では一番完全に近いネスーレのテキストを基として…に他のテキスト及び…

◆各國の　翻譯を參照した文體は…の聖書の讀み難い…點のあるのに注意して…理解し易い…に翻譯する事に努力し文章…句も平易にして漢文句調や漢字讀みは能ふ限り使用しない樣にした…例を擧ぐれば…殺人…とあるのを

◆人殺し　とし『いへつくりの…』と云ふ言葉に漢字を當る…合『家造』とすべきか『造家者』とすべきか…前者では家を造ると云ふ意味で…を造る人間と云ふ意味がないから後者の樣にしなければならぬなど、…込み入つた事まで苦心したものである元來…の翻譯の事業の企てられたのは今度の企てよりもずつと前の話で…本多庸一氏等の存命中翻譯同盟會なるものがあり此會の發起で委員數名を擧げて

◆歐譯の　事業に著手する事となつたところ不幸にして或る事情の爲に翻譯同盟會が解散され從つて歐譯委員も其の權能が消滅して仕舞つた、けれ共折角思ひ立つた事であり實際上にも必要に迫られてゐるので今度『聖書會社』に話を持ちかけた所が聖書會社は又之をパーマー、ネントピション、ミッチーに計り相談が纏つて遂に前記八氏の委員任命となり今回首尾よく完成される事となつた次第である

中風(腦溢血)
半身麻痺、不隨症
せきづい病
右患者自宅療法は多年自療法を研究…京都…鍋門内…自療法…所…病名記入申込次第無料回答す
…支…局…小…八二三番地…山…矢…ス…大正六年十一月…日…株式會社

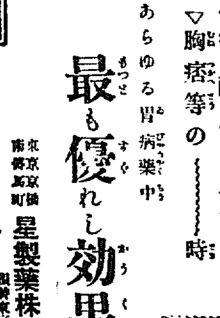
胃つぎ治療
明治町ふらんす…
荒川仁壽堂…第二五九五

淋病新藥ツヨール
故下山藥學博士、吉松藥學博士、丹羽…田中…、岩川…、田川醫學士、加藤…醫學士、山田…醫學士等の實驗の結果…内服…淋劑…と…有し且副作用…を害せず…淋病に偉効あり…尿道炎…其他一般淋病に偉効…す
…發賣元東京市日本橋…ツヨール商會
▲發賣元大阪道修町　田邊五兵衛
振替大阪八六七番
百粒入壹圓…　五十粒入…　三十粒入…

懷中要藥　清心丹
船車酔の時…頭痛…眩暈…嘔吐下痢…腹痛の…
飲食後…服用せば…消化を…
中毒…赤痢…コレラ…腸チブスの…豫防…口中…たる…にも…
發賣元 東京日本橋 高木與兵衞

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話 一一三七 一二九二 番

醫界の信認最も高き
新滋養劑レグモン
◎肺結核◎胃腸病
◎熱性病◎神經衰弱
◎其一般病中病後の衰弱◎乳汁不足の婦人は直ちにレグモンを服用せ
◇レグモンは日本人の体質に最も適合する植物性蛋白質を基本としたる國産滋養劑にして
◇京都醫科大學教授藤島博士より有効滋養劑として推奬せられ又山下、林、恒次、吉深の四醫學士は多數の衰弱したる患者に用ひて甚だ有効なる滋養劑たるを實證せられたるものなり
【容器】百五入 金壹圓…　二百五入 金…　四百五拾五入 金…
大阪市東區道修町
一手販賣元　武田長兵衛
全國知名藥舖に販賣す
說明書無代進呈

ホシ胃腸藥の一匙は
▽消化不良▽溜飲▽吐瀉▽惡醉▽食もたれ▽飲過▽食過▽宿醉▽胃腸カタル▽惡心▽胸痞等の――時
あらゆる胃病藥中
最も優れし効果あり
定價 廿錢 五十錢 一圓
東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社
振替東京二〇五三 電話京橋一七八三
胃病良藥


櫻御殿

第五十八回　大阪入（三）　大阪霞の家主人

二十二日正則は先陣に立つて、池田、淺野、黒田、藤堂、有馬等の諸勢と共に進んで、河内國葛葉に至る、毛利輝元が正則と長政とに起誓文を送つて、家康に二心を挾まぬ實意を表する爲め、西の丸を退きたいと云ひ詰したのは此の時である。

由つて正則から輝元の起誓文を捧げる、家康はいよいよ思ふ壺にはまる

『長門黄門（輝元の事）の實意は、我等共よく存じ居る、治部が謀に伏する上は、敬服も念に措けて…い、早々この旨を申し送られへ』と一たん大體を示して後『ぢやが、長門黄門起誓文に血を塗つて二心無き旨を表はすからは、西の丸を當方へ收めねばなるまい、實標は吉例に由つて先陣、池田、淺野、黒田、藤堂、皆同道を致すべきぢや』と命けた

正則始め五人の連名で、輝元へ書を送る、それは江戸内府公上許に對し聊かも異心を持たせられぬ、安堵して宜しからう、との意味であつた

そこで輝元は、西之丸を退いで木津の屋敷に移り、増田長盛は大和郡山の城に蟄居して謹愼の意を示した

正則は先發して大阪に入り、ついで西之丸へ入る、淺も、播も、天王も、郡も、太閤が世にあつたときと變りはないが、變り果てたは城内の光景である

金瓢の馬印もあらう、旗はつた軍旗もあらう、信長から讓う、矢もあらう、鐵砲、彈藥、太刀、劍、鎗、長刀に云ふに及ばす太閤が蓄積した數十萬の黄金もあらう、天下の名器名物もあらう、それはしまさう。秀頼公も在らせられよう、然し、魂の無い人の如くに、抜殻同然になつて居た。それに命令に在るは淀君、而も猶、大野修理、それを握る老臣の木偶に、秀頼は…淋しく吹く

太閤在世の頃は、大手の門も押さえるほどに、諸大名の出入もあつた、廊々に溢れるほど人々の元氣も滿ちた『殿下』と云ふと、この一言に壓迫けられて、皆が一齊に土下座した、が『江戸内府殿』と云つても、横を向いて聞こわぬような顔をした、前田利家と家康とに、くれぐれも一筋の事を頼んでから、程無く利家の事を『加賀の爺』家康の事を『江戸の爺』と呼んで、馬にもたり、相撲の相手にもしたりした

それが今の態度は何うであらう、大名らしい大名は悉く家康の鼻息を覗つて、誰一人『秀頼樣』と云ふ者がない、假へ心には思つて居ても、これを表面に出したら、知れに巍が付かうかと恐れを爲して、成るべく餘所々々しう扱ふ、前には横で享けた『江戸内府』の名をへくは土下座して受ける、さうして『秀頼樣』の名を冷たい頬の上から聞らせる

太閤が薨じてから僅かに三年、『江戸の爺』が大きな掌を擴げて、大阪の城を一掴みにしようとする、三年前、二年前、まだ三月前までは、肩の上へ足をかけて、無理の八百を云つて居た『江戸』の爺の心一つで、秀頼は憐れな運命へ落ちねばならぬ

世のさまの移り變り、人の心の定め無さ、それが大阪城の光景に、まざまざと見える、小姓の唇に許定…

花柳病　皮膚病　須古醫院　京城明治町二ノ二二　電話二二二

て、家康から『秀頼公に拜謁して如何』との案内を聞いて、先づ、庭先に床机を据ゑ、その驕には、それぞれに、た騒ぎを起らして、今日の勝利の原は作つたものゝ、斯うして大阪の城へ入つて見ると、秀頼の影が尊く見える

『江戸内府公』果して見舞に秀頼公へ謁見を來る、御心をお運び下さるであらうか。と思ふ不安の念が捨なき胸を襲つた

何はさて、秀頼公の御無事な御姿を見て、喃なりとも心の用りを作らねばならぬ、と思つて、誰より前へ『御目通の儀』を願ひ出た

京日報俳壇

コスモス

コスモスに毛布干す日の官舎哉　味川
旅の埃り拂ふ欄や秋櫻　同
コスモスに風が募りて黄昏る　同
葺替ゆる屋根の埃や秋櫻　同
往還に沿ふコスモスの離哉　白樂天
馬立場に喇叭鳴るコスモスの夕べ　同
郵家にコスモス咲き陽に遊ぶ　楓亭
コスモスに物を爭ふ鶏の雛　同
コスモスや茶の手飯に來る雀　越山
コスモスの咲く官舎哉　越城
陽に光る敎會の窓や秋櫻　總山
コスモスに紫蘭から面役所　指川
コスモスの小家並ぶ車末哉　珍山
引越しの車が着きぬ秋櫻　伯牛
郎内に祀る祠や秋櫻　可笑
何かにコスモスを切る婢哉　さだ村
コスモスが新聞の音に怯え居る　要村
コスモスに洋燈の灯が流る哉　楚川

芙蓉

吾郎の門守り住む芙蓉かな　未刀
子を抱き芙蓉に寄る夕べ　同
鶏の餌に雀群れ來る芙蓉哉　同
人を送る灯に高々と芙蓉哉　好琦
芙蓉咲く木戸に夕風募る哉　北豊
門に見き染屋が庭の芙蓉哉　馬岳
芙蓉騒る庭慮う傾す庇かな　汀石

回活巴會小集（十月二十六日老人亭友泰居にて）

○紅葉

[illegible]

新刊紹介

▲新時代（十一）
▲ガスリン自動車
▲中外新論（一の二）
▲國士論號
▲東洋時報（二二九）五十錢
▲本日の英語（一〇の八）十二錢五厘
▲官話急就篇詳譯（山口高商教授大橋末彦先生譯）
▲鶏林文壇（一の四）
▲學生（八ノ十二）二十錢
▲大阪朝鮮貿易商報（一五六）
▲夕顔倶樂部（二ノ一二）
▲報（二ノ一〇）
▲刀の研究（三の九）
▲婦人週報（の四十三）
▲小國民（一一）
▲畠の道しるべ

天津市街復活

車場より良王庄に至る線路復舊の模樣なれば共曉には天津と濟南及び浦口間列車の運轉可能となるべし又英佛租界は白河岸と老西開築堤の大部分浸水を見たるも…兵營前の空地より掘起し馬車に運搬し一方は海大道に電力ポンプに向け排水しつゝあり同租界は浸水程度少なるを以て復活の曙光現はれ各方面共掃除に餘念なく今後は唯一日も速に清潔法を實施し結氷迄に完全なる修復をなすべく全市民衛生の…

今年の天長節の夜會に

クラブ白粉

一番高尚で美しい艶の出る

內外貴婦人中の花として、萬目を一身に集めたる○○伯爵夫人の御化粧も、高尚で美しい淑女式御化粧でございました。其お化粧法は

先づ【第一】に舶來石鹸よりも牛乳よりも遙かに結構なる日本名物クラブ洗粉で顔中を洗ひ、【第二に】一番よくきくアレ此家用の美身料クラブ美身クリームを額から頬にかけて薄く引き、指先で能く擦込んでから濡タオルで輕く拭取り、【第三に】クラブ白粉を掌に取つて、指先で能く煉つてつけ、（襟は顔よりも少し濃くする事）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせ、【第四に】お顔にホンノリと櫻色の健康色を添へるクラブ頬紅を、目の下から頬へかけて薄く刷きつけ、【第五に】お白粉を一段と引立てるクラブ粉白粉をセーム革につけて薄に薄く打ち、外はポットに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム革で輕く打つて置きますと、高尚で美しい淑女式お化粧が出來上るのでございます。

お化粧の順序

美人